

令和3年度使用

# 中学校用教科用図書の 選定に必要な資料

松江採択地区教科用図書採択協議会

各発行者記号は以下のとおりである。

記号	発行者名	記号	発行者名
A	東京書籍	L	新興出版社啓林館
B	大日本図書	M	山川出版社
C	教育図書	N	数研出版
D	開隆堂出版	O	日本文教出版
E	学校図書	P	学研教育みらい
F	三省堂	Q	自由社
G	教育出版	R	育鵬社
H	教育芸術社	S	学び舎
I	光村図書出版	T	廣済堂あかつき
J	帝国書院	U	日本教科書
K	大修館書店		

## 令和2年度 松江採択地区 選定に必要な資料の観点と規準

- (1) 記述された内容、程度が、生徒の発達段階に適合しているか。また、分量が適切であるか。 【各科目・特別の教科道徳 共通】
- ・ 基礎的・基本的な内容の定着を図る工夫がなされているか。
  - ・ 生徒の思考力、判断力、表現力を引き出す工夫がなされているか。
  - ・ 多様な生徒の学習状況に対応する工夫がなされているか。
- (2) 取り上げられた題材の選択や構成は、学習を効果的に進めるために適切なものになっているか。 【各科目・特別の教科道徳 共通】
- ・ 内容の系統性に配慮した単元の配列などの工夫がなされているか。
  - ・ 自ら調べ、まとめるなどの問題解決的な学習につながる工夫がなされているか。
- (3) 生徒が興味・関心をもって学習できるように工夫されているか。 【各科目・特別の教科道徳 共通】
- ・ 自ら課題を見つけ、学習を継続的、発展的に進めていくための工夫がなされているか。
  - ・ 意欲を喚起するために、写真や図表などの資料、レイアウトなどの工夫がなされているか。
- (4) 各教科の特性が生かされ、島根県の実態や課題に適合しているか。 【各科目】  
道徳科の特性が生かされ、島根県の実態や課題に適合しているか。 【特別の教科道徳】
- ・ 松江や安来の地域の実態に合うような教材を生かし、様々な体験や活動を通して考える学習への工夫がなされているか。
  - ・ 今日的な課題を追求する学習につながる工夫がなされているか。
- (5) 各教科における資質・能力との関連や実生活へ生かせる工夫が盛り込まれているか 【各科目】  
各教科等における道徳教育との関連や実生活へ生かせる工夫が盛り込まれているか。 【特別の教科道徳】
- (6) その他
- ・ 観点1～5にあてはまらない内容やその他特筆すべき事項。 【各科目・特別の教科道徳 共通】
- 総括
- ・ 観点1～5及びその他についての記述や感性を育む要素などを総合したその教科用図書の全体的な特徴。 【各科目・特別の教科道徳 共通】

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 国語 )

No. 1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
A 東京書籍	<p>・本編、基礎編、資料編の3部構成になっており、資料編には本編で学んだことを振り返ったり、深化させたりできるように、各領域の題材が適宜配置されているので、発展的・補充的な学習として取り上げやすくなっている。</p> <p>・定評のある、生徒に読ませたい題材が、発達段階に応じて取り入れられている。</p>	<p>・「話す・聞く」「書く」「読む」の各領域とも、3年間を通した系統性・学年に応じた段階性をもって題材が配列されており、効果的に指導できる。</p> <p>・「日本語探検」「文法の窓」「漢字道場」といった、言語事項にかかわる内容が系統的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>・詩歌の鑑賞から創作へ、小説の読解から表現の学習へなど、学びを各領域で関連づけられるように配慮された構成となっている。</p>	<p>・キャラクターなどを設定して親近感をもたせている。また導入の「学びの扉」でストーリー仕立ての漫画を用いて、生徒が抱えがちなつまづきや疑問に寄り添い、学習意欲を高めるのに適した構成になっている点が優れている。</p> <p>・1年生の古典題材導入では、「浦島太郎」や「伊曾保物語」を取り上げて身近な童話との関連を示すことで、古典学習への興味を喚起するよう工夫されている。</p>	<p>・3年生では東日本大震災に関連する題材を複数回取り上げ、話し合いや読解を通して防災・安全について考えを深められるよう配慮されている。</p> <p>・「読書案内」や「読書活動」「作家と作品」では、幅広いジャンルの本を分野ごとに配列し、短いPOPで効果的に紹介しており、生徒の興味・関心を高め、読書指導に役立つよう工夫されている。</p>	<p>・基礎編「学びを支える言葉の力」では、学んだことと日々の暮らしが繋がる場面を提示したり、他教科の学習内容との関連をマークで示したりと、国語科の学びを実生活へ生かせるよう配慮されている。</p> <p>・2年生の説明的文章では文章と図表を組み合わせた読み取りや、複数の文章を比較する学習を設定し、情報の関連づけや批判的な読みを促すよう工夫されている。</p>	<p>・漢字にルビがついている箇所が多く、学習支援の必要な生徒にも読みやすくなるよう配慮されている。</p> <p>また、題材本文の下には数字と点をつけて示してあり行数を数えやすい。</p> <p>・Dマークを示した題材では、二次元コードを利用することにより関連する音声や映像資料を閲覧でき、家庭での自主的な学習に活用できるよう工夫されている。</p>	<p>・国語を苦手とする生徒にも取り組みやすいように工夫されている点に優れている。</p> <p>・キャラクターを多用して学習意欲を喚起しつつ系統的に学習を進められるように工夫されている。</p> <p>・巻頭カラーページや各単元の扉には季節感のある写真、四季を味わうことができる詩歌などを置き、感性を磨く場としての工夫がされている。</p>
F 三省堂	<p>・本編では学年に応じた読みやすく適切な題材文を多く取り入れるとともに、読解の学習では学習スキルについて明快な記述と例示によって基礎的な言葉の力を確実に身に付けられるような工夫がされている。</p> <p>・題材には、現在の中学生に身近な内容の作品や現代社会の問題を取り上げた作品、また従来から取り上げられている名作が、バランスよく盛り込まれている。</p>	<p>・「学びの道しるべ」のページでは、学習の目標や課題、振り返りをまとめて提示し、「思考のヒント」や「語彙を豊かに」の囲みで学習を導き、過程を明確にした構成がなされている。</p> <p>・「読む」領域の各テキストに「読み方を学ぼう」を配置し、特に説明文題材では短文で読み方のスキルについて確認し、長文でスキルを習得・活用でき、読解力向上に適した構成となっている。</p>	<p>・夏井いつき、宮下奈都、森山直太朗などの著名人の文章等を取り上げられ、生徒の興味をそそる工夫がされている。</p> <p>・各学年末には、中学生もよく知っている歌の歌詞を掲載し、歌詞を言葉として意識して解釈させるよう工夫されている。</p>	<p>・国の学力調査を模した課題作文を掲載(3年生)し、問いの読み取り方や解答の手順を具体例に示してわかりやすくなっている。</p> <p>・1年生読書題材「古事記」では、「大国主神と因幡の白兔」が取り上げられており、郷土の伝統文化を尊重する態度の形成について配慮されている。</p> <p>・各学年に「情報を関係づける」単元を配して今日的課題への考えを系統的に深められるよう工夫されている。</p>	<p>・「読み方を学ぼう」を巻末にも見開きページに一覧にして再掲しており、「こんなときに使える」という欄を設けて、つけた力を他のどの題材や教科で生かせるかも示されている。</p> <p>・各学年「情報を関係づける」単元では、複数の文章や図表を関連づけて思考・判断・表現する学習活動が設定されており、PISA型読解力を育てられるよう工夫されている。</p>	<p>・各学年の巻末の「資料ページ」には、日本文学名作集のページを設けており、各学年に応じた作品やその一部が紹介され、文学史の流れをつかむことができる。</p> <p>・巻末「読書の広場」にある二次元コードを利用すると、学習の参考になる図解を参照でき、「読み方を学ぼう」で学習した読み方を活用して主体的に学習を進められるよう工夫されている。</p>	<p>・「学びの道しるべ」によってその単元の見通しから振り返りまで主体的・対話的で深い学びを進めることができるように工夫されている。</p> <p>・「読み方を学ぼう」で思考力・判断力・表現力を伸ばすための方法が示されており、他教科の学習や日常の読書に活用できるように工夫されている。</p>

選定に必要な資料

(種目名 国語)

No.2

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
G 教育出版	<p>・学年に応じた定番の題材文を中心に掲載しつつ、国連の「持続可能な開発目標」(SDGs)との関連を重視して新しい文章や資料にも触れられるように配慮されている。</p> <p>・行間を広めにとり活字もやや大振りなので紙面の使い方に余裕があって読みやすい。</p>	<p>・「学びナビ」で各題材の学習に見通しをもたせ、「ここが大事」でポイントを示し、「みちしるべ」で学習を深化させ、最後に箇条書きで「振り返り」を示すなど、学習過程が明確化されており、生徒の思考に沿った構成となっている。</p>	<p>・中1では、小学校で学習した金子みすゞや宮沢賢治の作品を取り上げて学習のつながりを意識させることで意欲関心を高めるよう工夫されている。</p> <p>・1、2年生の「メディアと表現」では、漫画やアニメーション作品を取り上げ、独自の表現方法について考える学習を展開することで、言語表現に対する興味・関心を喚起するよう工夫されている。</p>	<p>・「学びのチャレンジ」のページでは、図表やグラフ、複数資料を用いた課題が豊富に提示されており、読解力向上を自分で試せるよう工夫されている。</p> <p>・題材ごとに関連図書を紹介する他、単元ごとに「広がる本の世界」と題してテーマが関連する図書を多数紹介するなど、並行読書を促し積極的な読書活動につなげられるよう工夫されている。</p>	<p>・巻末の「言葉の自習室」には、百人一首や十二支などの古典関係の資料や、原稿用紙の使い方など実用的な資料が掲載され、他教科の学習や実生活に生かしやすいよう工夫されている。</p> <p>・「言葉発見」の頁で実生活での言語表現に役立つ情報が盛り込まれている。</p>	<p>・「まなびリンク」が設定されている題材では、二次元コードを利用して補助資料にあたり関連情報を得るなど、主体的に学びを進められるよう工夫されている。</p> <p>・意味調べをする語句が、本文下の欄外だけでなく、新出漢字と同じように各題材末にもまとめて掲載されており、学習の助けとなる。</p>	<p>・「学びナビ」を設けて、生徒が見通しをもって主体的・対話的に学習に取り組むよう工夫されている。</p> <p>・図解などを効果的に使い、学習内容の視覚化を工夫している。また、行間を広くし大きな文字を用いるなどユニバーサルデザインの視点が生かされている。</p>
I 光村図書出版	<p>・発達段階に応じた適切な難度、分量の題材文をバランス良く配置している。特に1年生の前半の説明文では「ダイコン」「だまし絵」など意欲を喚起しつつも図表と関連づけた読みを求める質の高さにおいて優れている。</p> <p>・各題材の最後に語彙に着目する場面を設けている他、巻末に語彙表「語彙を豊かに」を掲載し、思考力・表現力を高める語彙力を育てられるよう工夫されている。</p>	<p>・目次に続いて学習項目ごとの一覧表を提示し、1年間の学習の見通しをもてるよう工夫されている。また「思考の地図」によって、生徒が主体的な学習に向かえるよう配慮されている。</p> <p>・1年生最初の単元で音読や発表の仕方、ノートを取り方などが丁寧に取り上げられており、学習の基本形を確認・指導するのに適している。</p> <p>・1年生の「古典の世界」では3年間で触れる古典題材を概観し意欲を喚起している。</p>	<p>・「話す・聞く・書く」の学習では、生徒が必然性をもった学習として受け止められるよう、実生活の場面を想定した活動を設定するなどして工夫されている。</p> <p>・イラストを用いて、よりわかりやすく説明したりアドバイスをしたりして、生徒によりわかりやすくなるような工夫がされている。</p>	<p>・各学年に設定された「聞き上手になろう」では、聞きながら共通点や相違点を整理したり、話の根拠を明確にしたりするための手順について学習を深め、話し合い学習の充実を図るよう工夫されている。</p> <p>・情報題材では、各学年「情報社会を生きる」単元の他、「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」「思考の地図」など多くの題材や資料を系統立てて載せ、汎用的な論理的思考力の育成につながるよう工夫されている。</p>	<p>・「学習の窓」一覧があり、身につけた力を確認し、学習や日常生活に生かすことができる工夫がされており、優れている。</p> <p>・学習過程の最後に「振り返り」を位置づけて、理解したことの言語化と活用を促すことで、資質・能力を自然に定着させるのに適している。</p> <p>・巻末の「学習を広げる」には実用的な資料が掲載され、他教科の学習や実生活に生かしやすいよう工夫されている。</p>	<p>・各題材の該当部に二次元コードが配置され、動画や参考資料など直接必要なコンテンツにアクセスでき、主体的な学習を広げやすい点が優れている。</p> <p>・1年生の題材は後半まで文字や行間を大きくし、中1ギャップの解消に配慮した編集となっている。</p>	<p>・古典から今日までの幅広い文学作品に加え、PISA型読解力養成を意図した今日の課題を含む説明的文章を多数配置しており、3年間を見通した学習の系統性と題材配列のバランスにおいて優れている。</p> <p>・新学習指導要領にのっとり、情報題材を系統的に取り上げ、適切に読み解き、論理的に考える力を育むよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 書写 )

No.1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
A 東京書籍	<p>・1年が47ページ, 2年が33ページ, 3年が31ページ, 資料が36ページで, 総ページ数が144ページである。</p> <p>・1年は毛筆教材が2点, 硬筆教材が7点, 硬毛共通教材が7点, 思考・判断の教材が1点, 2年は毛筆教材が1点, 硬筆教材が5点, 硬毛共通教材が5点, 思考・判断の教材が2点, 3年は硬筆教材が1点, 硬毛共通教材が2点, 思考・判断の教材が4点である。</p>	<p>・基本単元の学習から活用単元の学習へという流れで単元が構成されている。</p> <p>・基本単元の中に「書写のかぎ」という文字を正しく整えて書くための知識・技能が系統的に整理して配置されており, 生徒が見通しや課題意識をもちながら学習できるよう配慮されている。</p> <p>・行書の指導では, 「二」「十」「口」「人」の四つを核として, これを他の字へと応用していくことで段階的に行書を身につけられるよう構成されている。</p>	<p>・コラム「文字のいづみ」では, 伝統的な事柄や現代社会の仕事の中にある手書き文字を取り上げ, 文字文化への興味・関心を喚起する工夫が見られる。</p> <p>・学校生活の中で文字に触れる場面をイラストで示しており, 生徒の興味・関心を喚起するよう工夫されている。</p> <p>・生徒の日常生活の中で活用できる題材を豊富に取り上げることにより興味・関心を高めるよう配慮されている。</p>	<p>・「生活に広げよう」では, 「職場訪問」「読書」「防災訓練」など, 体験活動の一連の流れと書写の学習が関連しており, 効果的な指導ができる。</p> <p>・情報を適切に伝える手段・方法の例を挙げ, 目的にふさわしい書式を主体的に選択する力を付けるよう工夫されている。</p>	<p>・「生活に広げよう」や「書写活用ブック」では「本のポップ」「新聞」「リーフレット」づくりなどが取り上げられ, 実生活や他教科等の学習に生かすことができるよう工夫されている。</p> <p>・楷書と行書の使い分けを実際の生活場面を想定して考えられるように工夫されている。</p> <p>・他教科との関連がある単元・教材にはマークが付いており, わかりやすい。</p>	<p>・右ページで説明してある「書写のかぎ」が左ページの手本の横にも示されており, 毛筆の課題に取り組みやすい工夫が見られる。</p>	<p>・各単元において, 硬筆と毛筆の関連が図られており, 生徒の日常生活での書く力を定着させる工夫が見られる点で優れている。</p> <p>・行書の指導では, 「二」「十」「口」「人」の四つを核として, これを他の字へと応用していくことで基本を意識しながら段階的に行書を身につけられるよう構成されている点で優れている。</p>
F 三省堂	<p>・1年が36ページ, 2年が22ページ, 3年が9ページ, 資料が48ページで, 総ページ数が128ページである。</p> <p>・1年は毛筆教材が7点, 硬筆教材が4点, 思考・判断の教材が1点, 2年は毛筆教材が5点, 硬筆教材が2点, 思考・判断の教材が2点, 3年は毛筆教材が1点, 硬筆教材が1点, 思考・判断の教材が2点である。</p>	<p>・「書き方を学ぼう」では, ページ上部に単元の流れが掲載されており, 見通しをもって学習を進められるよう配慮されている。</p> <p>・各学年における単元の構成がわかりやすく, 「やってみよう」でこれまでの学習を生かして書く活動を行う構成となっている。</p>	<p>・最初に楷書の手書き文字の詩が, 最後に行書で書かれた詩が掲載されており, 生徒にとって親しみやすく, 書写への関心・意欲を喚起させるようになっている。</p> <p>・文字に関わる仕事の達人を紹介し, 文字の魅力を感じることができるよう工夫がなされている。</p>	<p>・最初に1年生と3年生の「私の文字」を書くようになっており, 三年間の成長を確認できるよう工夫されている。</p> <p>・はがきなどを実際に書く教材があるが, 多様な書き方を示したり, 書き方を支援する補助資料を付けたりするなどの配慮がほしい。</p>	<p>・「やってみよう」の単元は, グループ新聞や情報誌, 名言集づくり等, 他教科の学習に生かすことができる内容となっている。</p> <p>・巻末の資料編に実生活に役立つ書き方の例が掲載されているが, 学習の流れの中に書く活動を取り入れていけるような配慮がほしい。</p>	<p>・「資料編」に毛筆補充資料があり, 学習したことを生かして他の字を書くことができるなど学習を深めることができるよう工夫されている。</p>	<p>・各学年における単元の構成がわかりやすく, 「書き方を学ぼう」では, ページ上部に単元内の流れが掲載されており, 見通しをもって学習を進められるよう配慮されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 書写 )

No.2

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
G 教育出版	<p>・1年が48ページ, 2年が36ページ, 3年が17ページ, 資料が33ページで, 総ページ数が144ページである。</p> <p>・1年は毛筆教材が4点, 硬筆教材が7点, 硬毛共通教材が6点, 思考・判断の教材が1点, 2年は毛筆教材が2点, 硬筆教材が8点, 硬毛共通教材が3点, 思考・判断の教材が3点, 3年は毛筆教材が2点, 硬筆教材が2点, 硬毛共通教材が2点, 思考・判断の教材が2点である。</p>	<p>・書写を通して三年間で学ぶことが「木」のイラストを用いてわかりやすく示されている。</p> <p>・各学年の構成が, 基本的な書き方, 仮名との調和, 学習を生かすという3つの項目で統一されている。</p>	<p>・教科書に出ている中学生がイラストではなく実写であり, 現実の学校生活を想定しやすくなっている。</p> <p>・各単元に「コラム」を設け, 生徒が活動する場面や文字に関する文化を紹介し, 生徒の興味・関心を高めている。</p>	<p>・「学習を生かして書く」「学校生活に生かして書く」では, お薦めの本のポップ作りやポスターセッション, 植物レポートなど, 体験を通して書く活動が多く取り入れられている。</p> <p>・「情報を整理して, 活動につなげよう」では, 探究的な学習に必要な情報の整理の仕方について示してあるが, 書写の観点をわかりやすく示すなどの配慮がほしい。</p>	<p>・ノートの例, レポート, 本の紹介, 新聞の作成, 都道府県名など, 他教科との関連教材を設定し, 教科横断的な学習をするのに適している。</p>	<p>・毛筆の学習をすすめるにあたって, 生徒が苦手意識をもつ点について運筆が写真で示されており, 工夫が見られる。</p> <p>・巻末の漢字一覧表が部首索引になっており, さらに小学校で学習したものと中学校で学習したものに分かれている。</p>	<p>・手本の中心線, 運筆の写真, 漢字と仮名の配列の見本など, 丁寧に毛筆指導が行えるよう配慮されている。</p> <p>・書き方のポイントや学習で気づいたことなどを書く欄があり, 主体的に取り組み, 振り返ることができる。</p>
I 光村図書出版	<p>・1年が34ページ, 2年が23ページ, 3年が21ページ, 資料が35ページ, 総ページ数が157ページである。</p> <p>・1年は毛筆教材が8点, 硬筆教材が3点, 硬毛共通教材が4点, 2年は毛筆教材が5点, 硬筆教材が2点, 硬毛共通教材が3点, 思考・判断の教材が2点, 3年は毛筆教材が6点, 硬筆教材が3点, 思考・判断の教材が1点である。</p>	<p>・各単元の中に学年別の教材があり, 特徴的な配列になっている。</p> <p>・学習の流れが見開き2ページにわたり, 目標と振り返りとともに, 「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という三段階で示されており, 生徒が見通しをもち, 主体的に学ぶことができるように配慮されている。</p> <p>・3年生の学習の終わりに, 1年生から3年生までの学習内容の一覧があり, 学習したことを確認できるよう工夫されている。</p>	<p>・コラムや「身近な文字を探す」「文字の使い分け」では, 生活の中の文字や多様な文字文化を紹介し, 興味・関心を高めるようになっている。</p> <p>・取り上げてある資料が生徒にとって身近なものが多く, 興味・関心をもたせる工夫が見られる。</p>	<p>・ユニバーサルデザイン書体に関するコラムがあり, 多様性を認める意識がもてるよう工夫されている。</p> <p>・学習を生かして, 学校生活や実体験で書く活動ができるものがもう少しほしい。</p>	<p>・「季節のしおり」では, 国語の教科書に出ている作品の一部をなぞり書きできるようにになっている。</p> <p>・「冊子にまとめよう」では, 生徒に興味・関心があることを取り上げ, 学習の進め方に沿って活動できるよう工夫されている。</p>	<p>・別冊で「書写ブック」が付いており, 教科書で学んだことを硬筆で練習できるようにになっている。</p> <p>・全体的に文字の大きさや色遣いなど, 紙面が簡潔でわかりやすく, 配慮されている。</p>	<p>・学習の流れが見開き2ページにわたり, 目標と振り返りとともに, 「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という三段階で示されており, 生徒が見通しをもち, 主体的に学ぶことができるように配慮されている。</p> <p>・本誌では毛筆の学習を, 別冊の「書写ブック」では硬筆の学習を重点的に行い, 硬毛の連携が図れるよう配慮されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 社会 (地理的分野) )

No.1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	(1) 内容、程度、分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科及び実生活との関連についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3編で構成されており、授業時数は、第1編「世界と日本の姿」は13時間、第2編「世界の様々な地域」は39時間、第3編「日本の様々な地域」は57時間の配当となっている。</li> <li>・基礎的・基本的な内容で構成されており、文章表現の程度も平易である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の授業ごとに学習課題と学習課題の解決が提示されチェックできるように工夫されている。</li> <li>・単元の始めには小学校での学習の振り返りをするための用語、マークを掲載している。(p6) また、対話的な学習を実践するため「みんなでチャレンジ」を設定し、「見方・考え方」で単元全体をしっかりと捉えさせている。(p13)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の諸地域では、各地域の導入部分にイラスト入りの大判地図が掲載されており、生徒が地域の様子を具体的にとらえられるよう工夫がされている。</li> <li>・「探究課題を解決」コーナーでは、キャラクターが会話をする形式で設定されており、理解しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹島については「韓国が不法に占拠」と記述されている。(p26)</li> <li>・中国・四国地方では高速道路開通後の人の移動を「浜田駅から広島駅、松江駅までの所要時間」等で考えていくようになっている。(p200)</li> <li>・町おこし・村おこしでは、Rubyが紹介され松江市のソフトウェア開発について掲載されている。(p205)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史や公民の関連ページには「分野関連マーク」が、他教科と特に関連の強い内容には「教科関連マーク」が設けられている。</li> <li>・「Dマークコンテンツ」を用意し、二次元コードからさまざまな地図や時差の求め方、練習問題等に生徒自らがアクセスできるよう工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QRコードやDマークコンテンツを使って関連するページの紙面を直接見ることができ、横断的な学びができるような工夫が見られる。</li> <li>・資料と本文と色分けをして視覚的に分かりやすくしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の正確な認識や相互理解と多様性を尊重し、課題について様々な視点から考える力を育成できるように編纂されている。</li> <li>・SDGsや情報化、防災、伝統文化の尊重などの内容を効果的に取り上げ、現代的な諸課題の解決に主体的に取り組む態度を育成しようとする工夫が見られる。</li> </ul>
G 教育出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時数は「世界と日本の地域構成」に9時間、「世界のさまざまな地域」に43時間、「日本のさまざまな地域」に63時間の配当となっている。</li> <li>・基礎的・基本的内容で構成されている。文章表現の程度も平易である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業1時間ごとの見通し・振り返り、節や章のまとめりごとにも見通し・振り返りが設定されており、学習内容を定着できるように工夫されている。</li> <li>・地理的な技能を身につけさせるために、「地理の技」を8項目設けている。(p31他)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タピオカやカレーなど身近な食品や、同世代の生徒たちの食事風景の写真を取り上げ、生徒の関心を高めるように工夫されている。</li> <li>・学習コラム「地理の窓」を設け興味・関心を喚起するとともに、学びを掘り下げて視点を変え、視野を広げる工夫がされている。(p195)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹島については、南東を上にした地図を掲載して、東アジアの中での位置的な重要性を意識できるように工夫されている。(p25)</li> <li>・島根県に関しては、三江線の廃止や代替バスなどを紹介し、過疎による地域の課題が取り上げられている。(p194) また、石見神楽、石見空港の状況が掲載されている。(p189, p199)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校での学習内容や他分野との関連事項が右ページ下に記載され、3分野の学びを関連させるようになっていいる。</li> <li>・日本地誌の学習では各地方の最終ページに「現代日本の課題を考えよう」を設けて、生徒たちが実生活との関連について学べるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の諸課題について自ら考え、判断し、内外の多様な人々とつながり、共働することのできる生徒の育成を目指して編纂されている。コード「学びリンク」があり、学習に役立つ情報を見ることができる。(p9)</li> <li>・地域の伝統文化や多文化共生に関する記述や内容が豊富である。(p228, p270)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の諸課題について自ら考え、判断し、内外の多様な人々とつながり、共働することのできる生徒の育成を目指して編纂されている。</li> <li>・世界地誌の学習では、導入ページで州ごとの主題とともに、SDGsの17の目標と関連する地球的課題を取り上げ、責任ある主権者としての意識が身につくように構成されている。</li> </ul>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 社会 (地理的分野) )

No.2

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容、程度、分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
J 帝国書院	<p>・授業時数は「世界と日本の地域構成」に10時間、「世界のさまざまな地域」に39時間、「日本のさまざまな地域」他に59時間の配当となっている。</p> <p>・基礎的・基本的内容で構成されている。本文は比較的分量が多く、詳しく丁寧である。</p> <p>・本文をより理解するために、わかりにくい用語の解説を本文横に配置するなど、本文の補足説明などを設けている。(p20)</p>	<p>・節(章)の始めには単元を貫く問いが明記され、見通しをもって課題追及することができる。</p> <p>・各見開きには「学習課題」、単元のまとめで「確認しよう」「説明しよう」など振り返り、更には節(章)の振り返りもあり「問い」を構造化している。(p2、p13)</p>	<p>・写真や図から地理的な見方・考え方ができるよう説明文がある。(p14、p229)</p> <p>・日本の各地方の冒頭に地方を概観できるイラスト地図がある。また、小学校で習ったことや祭り、食べ物などがあり親しみやすくなっている。(p171、p187)</p>	<p>・竹島の写真と地図(位置図)が掲載され、隠岐の島町に属すること、1905年に島根県に編入したこと、韓国が海洋警察隊を置いて不法占拠していること、国際司法裁判所への呼びかけに応じないことが記述されている。(p21)</p> <p>・出雲大社、石見神楽の写真、石見銀山、城下町松江、津和野が高速道路の開通による人の移動の変化で取り上げられている。(p198、199)</p>	<p>・小学校での学習内容や他分野との関連事項が左ページ下に青字で記載されている。</p> <p>・コラム「未来に向けて共生」が9カ所設置され、多様な価値観や文化の共生をはかれるように配慮されている。(p193、209、247)</p>	<p>・二次元コードが53か所、153のコンテンツがあり、学習の理解を助ける工夫がされている。(p3他)</p> <p>・写真が色鮮やかで非常に読み取りやすくなっている。また、図版が色で囲まれ、図版の範囲が読み取りやすくなっている。</p>	<p>・異文化理解・国土理解を深め、国際社会の中で生き、各地にみられる諸課題の解決を願う人材を育成することをねらいに編集されており、優れている。</p> <p>・教科書の冒頭でも「持続可能な開発目標(SDGs)の事例が紹介され現代的な諸課題と地理的事象の関連について意識して学習が進められるよう配慮されている。(巻頭1-2)</p>
O 日本文教出版	<p>・授業時数は、「日本と世界の地域構成」は10時間、「世界の様々な地域」は34時間、「日本の様々な地域」は58時間の配当となっている。</p> <p>・基礎的・基本的な内容で構成されており、文章表現の程度も平易である。</p>	<p>・内容ごとに、見方・考え方を示した「学習課題」「確認」「深めよう」を設け、見通しと振り返りができ、学習内容を深めることができるよう配慮されている。(p50、51)</p> <p>・地理の学習を進めるにあたって必要な技能を、6つの種類に整理し、系統立てて習得できるよう工夫されている。</p>	<p>・日本や世界のさまざまな地域の学習の導入部には、それぞれの地域の特徴的な写真が大判で掲載されており、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。(p44・45)</p> <p>・「アクティビティ」や「チャレンジ地理」では、自ら調べ、クラスで議論する活動や、思考ツールが示されており、単元全体で主体的・対話的で深い学びを行うのに適している。(p81、p70・71)</p>	<p>・竹島の位置を、拡大図で示していたり、全景写真を掲載したりしているところに工夫が見られる。「出張竹島展」の写真を掲載し、竹島資料室についても触れられている。(p19)</p> <p>・中国・四国地方の導入部では、出雲大社の写真が掲載されている。また、地域活性化の取組として海士町の「島留学」が取り上げられている。(p188、189)</p>	<p>・章の導入ページで小学校社会科の学習内容を示したり、歴史的分野や公民的分野と関連した教材が掲載されたりしている。</p> <p>・グラフの作り方では、数学との関連が取り上げられるなど、他教科との関連ある教材が掲載されている。(p133)</p>	<p>・「デジタルマーク」の表示してあるページでは、巻頭の二次元コードで関連するサイトや動画などで学習内容を深められるよう配慮がなされている。</p> <p>・各地域を「大観」するページでは、地勢図と主題図が併記され、関連付けて考えられるよう工夫されている。</p>	<p>・新しい時代を担う主権者を育てるために、社会的な見方・考え方を働かせた学習や、主体的・対話的で深い学びができるように編纂されている。</p> <p>・地球的課題や地域の課題などをコラムで取り上げたり、日本の諸地域をSDGsで振り返ったりするなど、現代的な諸課題を意識して学習が進められるよう配慮されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 社会 (歴史的分野) )

No. 1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教等及び実生活との関連についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の導入で、学習を貫く「探究課題」が設定されており、節ごとの「探究のステップ」や項ごとの「学習課題」を段階的にふまえながら学習することで課題解決に取り組めるよう工夫されている。(p18-61等)</li> <li>各章ごとに色分けし、時代を意識しやすいよう工夫してある。(p20等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各編の最後に、基礎基本のまとめとは別に対話的な活動を通して学習してきた時代を大観して、特色をつかむ活動を行い、学習を深めるページが取り入れられている。(p60-61等)</li> <li>見開き2ページが、どの時代に関する記述か、左下に明記してある。(p20等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章初めの見開き2ページに、その時代の絵画や年表などが提示してあり、年表には小学校での既習用語も明記してある。(p18等)</li> <li>20世紀初頭以降の写真資料は、着色写真が多く用いられており、資料をより現実的に視覚に訴えることができるよう工夫されている。(p220-222等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭、巻末において、松江城天守、小泉八雲の旧居が写真とともに紹介されている。(巻頭1、巻末2)</li> <li>出雲の阿国、石見銀山、竹島、森鷗外については、本文中に太字で記述してある。竹島については、特設ページで詳しく書かれている。(p180等)</li> <li>同和問題について、水平社運動のリーダーにスポットを当てるなど、小学校教科書より踏み込んだ資料を授業で扱えるよう工夫されている。(p218-219、p240-241)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他教科とのつながりについて、マークと該当する教科名を載せるなど工夫されている。(p51等)</li> <li>各章末の「地域の歴史を調べよう」では、調べ学習の手立てを示すだけではなく、「ポスターセッション」「郷土新聞」「レポート」「イラストマップ」など様々な発表方法を紹介し、総合的な学習の時間にも活かせる内容となっている。(p56等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※のページは「火山の噴火、地震や津波、土砂くずれなどによって起こった災害の写真を扱っている」ので、指導の際には配慮をお願いします」という工夫が目次に示されている。(p3)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末の「まとめの活動」では、Xチャートやウェビングなど、章ごとに異なる思考ツールを用いて、時代を大観して概念形成できるように工夫が見られる。</li> <li>島根県に関する資料が多く掲載されており、生徒に郷土への誇りをもたせ、地域史と通史の関わりをとらえさせることができる。</li> </ul>
G 教育出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章ごとに色分けし、時代を意識しやすいよう工夫してある。(p20等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開き2ページがどの時代に関する記述か左ページ小タイトルの上に明記してある。</li> <li>見開きごとの小タイトルには、時代を端的に現す諺、歴史的文書の一部やキャッチコピー的なものも混じっている。(「あつく三宝を敬え」：p40等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章2ページ目と3ページ目の見開きに、時代の様子がわかる絵画などを提示し、キャラクターが疑問を話している。(p97等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史の技」の欄で資料活用の技能を身につけられるような工夫が見られる。(p23等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史を探ろう」のページで、歴史と現在のつながりを考え、歴史を学ぶ意義を知ることができるような工夫が見られる。(p140等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次元コードから様々なデータベースにアクセスでき、資料や動画などを閲覧できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章ごとの「学習のまとめと表現」は、すべて「時代の変化に注目しよう！」となっており、時代ごとにまとめやすい。</li> </ul>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 社会 (歴史的分野) )

No.2

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
J 帝国書院	<p>・全体的にふりがなのふってある漢字が多く、様々な生徒への配慮がなされる等の工夫が見られる。 (p 149等)</p> <p>・各章ごとに色分けし、時代を意識しやすいよう工夫してある。(p 14等)</p> <p>・各章のふり返りページは2ページで、その前に発展学習が2ページある。 (p 144—147等)</p>	<p>・章ごと、節ごとに学習の見通し・振り返りの流れが示され、特に松江市や島根県の現場で定着している「振り返り」が強調されており優れている。 (p 133等)</p> <p>・ページ右端の略年表を、ずらすことにより巻末の世界の歴史の略年表と比べることができる。(p 15等)</p> <p>・見開き2ページごとに、「小学校・地理・公民との関連」が左下にあり、既習事項を想起させる等、優れている。(p 178等)</p>	<p>・「タイムトラベル」でその時代の日本を概観したり、小学校での学習を思い出したりするように工夫されている。(p 24等)</p> <p>・世界史とのつながりが深い学習では、見開き2ページにわたる地図が掲載され、世界各地の様子や日本とのつながりがわかるイラストが描かれ、生徒の興味や関心が高まるよう工夫されている。 (p 98—99、p 156—157)</p>	<p>・出雲の阿国、石見銀山、雷電、竹島、小泉八雲について、県名入りで記述されている。 (p 110等)</p> <p>・竹島については「歴史を探ろう」の中で、北方領土同様に詳しく扱われている。 (p 267)</p> <p>・「多面的・多角的に考えてみよう」では、本文にない歴史事象を提示して、多様な視点から時代を振り返る発展学習ができるよう工夫されている。 (p 144—145等)</p> <p>・ラフカディオ・ハーンが世界に発信した、日本の出来事を紹介している。(p 205)</p>	<p>・コラム「未来に向けて」が43テーマ用意されており、環境、交流人権、平和について、社会との関連を意識できる。(p 51等)</p> <p>・加納莞菴を取り上げ旧日本兵の解放を通じて日本とフィリピンの友好について考えさせるコラムがあり、「島根の道徳」による発展的な学習を進める上で優れている。 (p 258)</p> <p>・「人権」のコラムで「全国水平社の結成」「在日韓国・朝鮮人」「日本における先住民(アイヌ)」を扱うなど、公民的分野の基本的な内容にも関わる内容が広く押さえられ優れている。(p 223 p 265、p 281)</p>	<p>・巻末の年表中に日本以外の世界遺産が写真で紹介されている。 (折込1等)</p> <p>・「解説」では、「社会主義と共産主義」の違いや、「保守的と革新的」の違いなど、授業者が説明に腐心する内容をわかりやすく説明されている。 (p 213、p 260等)</p>	<p>・「タイムトラベル」では、政治史だけでなく、民衆史の視点から見つめることができるとともに、それぞれの時代の様子や特徴を把握しやすいように工夫されており、優れている。</p> <p>・章ごとの振り返りでは、毎回、「時代や年代」、「推移」、「比較」、「相互の関連」という4つの歴史的な見方・考え方から1つに注目して考えるようになっており、多様な意見が出るような工夫が見られ、優れている。</p>
M 山川出版社	<p>・他の教科書に比べ、文字が小さく、常体の文章なので、記述内容が多く詳しい。</p>	<p>・見開き2ページが1つのまとまりとして構成されている。</p>	<p>・「○世紀の世界」で、その世紀の世界を概観することができる。 (p 48等)</p>	<p>・竹島に関する記述が文章に記されている。 (p 267)</p>	<p>・同社の高校日本史教科書にスムーズに移行できる構成である。</p>	<p>・二次元コードから様々なサイトにアクセスでき、デジタル資料や動画、写真などを見ることができる。</p>	<p>・記述内容が多いだけに、因果関係などがわかりやすく説明されている。 (p 140等)</p> <p>・章末のまとめは、ワークシート形式になっており、直接書き込めるようになっている。(p 100—101等)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 社会 (歴史的分野) )

No.3

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教等及び実生活との関連についての工夫	(6) その他	
O 日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代ごとの様子がうかがえる資料が多数使用されているため、ページ数が多くなっている。(p 3 1 7)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各授業では、毎時間学習課題が設定され、課題の解決に向けて手がかりとなる見方、考え方の例が示されている。(p 4 4 等)</li> <li>「チャレンジ歴史」では、資料をもとに、考えたり対話したりして、歴史の面白さを体験できる特設ページが設けられている。(p 3 4 - 3 5 等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>編ごとの導入に、その時代を表す絵画資料や写真が大きく用いられており、生徒の興味・関心を引く工夫がなされている。(p 1 4 - p 1 5 等)</li> <li>編ごとの導入に、世界地図が写真やイラストとともに載せてあり、世界史との関連が興味深く勉強できるように工夫されている。(p 1 6 - p 1 7 等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「領土の確定と隣接地域」の本文、年表、地図で竹島の島根県編入について触れられ、「歴史を掘り下げる」のコーナーで「冷戦終結後の近隣諸国との関係」で歴史的経緯と現在の状況について記述されている。(p 1 9 2 - 1 9 3、p 2 9 2 - 2 9 3)</li> <li>古代から現代まで、各時代の女性の姿を紹介する「女性史コラム」が設けられている。(p 5 6 等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コラム「先人に学ぶ」では生活の向上や文化の発展、平和などに取り組んだ先人を紹介し、道徳科等との関連を図ることができるよう工夫されている。(p 2 4 7)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原始～古代においては、その時代の特徴をとらえた想像図が多用されている。(p 2 9 等)</li> <li>巻末の年表に、日本の世界遺産が写真、地図とともに紹介されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史的な見方・考え方」について詳しく説明され、各授業で扱う「見方・考え方」について視点が示されている。(p 1 2 - 1 3、p 2 6 等)</li> </ul>
R 育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開き2ページで1時間の授業を行うものとし、全86タイトルの通し番号が振られており、年間指導計画を立てやすくしてある。(p 2 4 - 2 5 等)</li> <li>右ページ下に生徒の学習活動の核となる質問が用意されている。(p 2 5 等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代の身分制度について百姓の生活レベルの高さや身分が流動する例も挙げるなど近年の身分制研究の方向性に沿った内容となっている。(p 1 2 7)</li> <li>国家間の関係を文字だけではなく、地図を重ねるなど、資料が見やすい構成となっている。(p 1 6 8、p 2 4 1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史ズームイン」では日本人の宗教観や日本人固有の精神について肯定的にとらえようと試みている。(p 4 4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史ズームイン」では竹島が島根県に組み込まれた歴史について、江戸時代の古地図も使用しながら我が国我が県の立場を論理的に示している。(p 2 6 7)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章のまとめにある「私の歴史博物館をデザインしてみよう」では写真資料を配置した枠に直接記述できるよう、従来ノートで行うまとめ学習を多くの生徒が教科書内で出来るよう工夫されている。(p 2 8 7 等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「なでしこ日本史」では歴史上活躍した女性を多く取り上げ、その生き方が紹介されている。(p 6 8 等)</li> <li>中世における「けがれの概念」を学習するための資料の追加が望まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本人の精神の源となったものとは何かを問い、その良さに気づかせたいという想いが全編にわたって著されている。(p 5 5 月光菩薩像の解説、p 1 4 3 二宮尊徳他)</li> </ul>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 社会 (公的分野))

No.1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開き2ページ1単位時間を原則として構成されている。図表、写真等多くの資料が掲載され、複数の資料を通して社会事象について考えられるように工夫されている。</li> <li>巻末資料等を除いた総ページ数は213ページで、標準授業時間数100時間のうち、5単位時間の予備時間が設けてある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きの最初のページに「学習課題」を示し、見通しをもって学習できるようにしている。最後には「チェック」「トライ」で学習課題に対する振り返りができるような構成になっている。</li> <li>各節の最初に、単元を貫く問いにあたる「探究のステップ」を示し見通しをもって学習できるようにしてある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の初めには小学校で学習した写真や用語を掲載して、小学校の学習を振り返る場面を設けることで、興味・関心を高め、系統的な学習ができるように工夫されている。</li> <li>漫画やイラストが豊富に掲載され、またICT機器を活用できる「Dマークコンテンツ」が準備されており、興味・関心を持たせる工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「領土をめぐる問題の現状」で竹島問題の経緯と取り組みについて示され、島根県が「竹島の日」を定めて返還を求める運動を続けていることが述べられている。添付資料として、竹島写真、国際司法裁判所写真、竹島周辺地図、李承晩ライン新聞記事が掲載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他教科と関連のあるページには「他教科関連マーク」が表示してあり、インターネットを使ってその関連の教科書を参照できるように工夫がされている。</li> <li>持続可能な社会にむけて今日的課題を学習するために適した構成となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に「参考法令集」「用語解説」を掲載し、重要法令や重要語句を確認できるように工夫されている。</li> <li>特設ページとして「もっと公民」「18歳へのステップ」が設けてあり、学習を深めたり、違う視点で捉えたりできるよう工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマを設け、現代の諸課題を意識して学習できるように工夫されている点が優れている。</li> <li>最初に課題を示し、見通しをもって学習を進め、見方・考え方を使った思考力・判断力・表現力の育成を促すよう工夫された構成になっている点が優れている。</li> </ul>
G 教育出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>図表、写真等の資料が多く、解説が側注されているなど、生徒が学びやすいつくりになっている。</li> <li>見開きページごとの「LOOK」に学習のヒントとなる事柄が示されている。</li> <li>授業1時間ごとだけでなく単元ごとにも見通しと振り返りの設定がしてあり学習内容が定着できるようになっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な地域や伝統文化、SDGs・領土問題など責任ある主権者として社会に関わっていく意識が身につくような教材が設定されている。</li> <li>各章の構成が「学習のはじめに」で学習のテーマや見方・考え方を示し「学習のまとめと表現」で振り返る構成となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特設ページの「言葉で伝え合おう」や「読んで深く考えよう」では多様な表現活動に取り組みながら思考力・判断力を高める工夫がされている。</li> <li>「公民の技」では個々での取組はもちろんグループ活動でも資料を通して考察できるような内容となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹島問題については「日本固有の領土」と本文中に記載され、写真の解説には「不法に占拠されている」ことが記述されている。</li> <li>浜田市の移動式投票所や海士町の島留学、大田市の中村ブレイスなど地域の特色ある活動や活躍する企業が取りあげられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見開きページごとにSDGsの17の目標に関連するキーワードを示し、終章で地球規模の課題について考察を促している。</li> <li>コラム「公民の窓」では知識・技能とともにさまざまな「見方・考え方」を身につけるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各章の扉ページには「まなびリンク」が設定されており、ウェブサイトから学習に役立つさまざまな情報が得られるようになっている。</li> <li>図やグラフにはカラーユニバーサルデザイン、文章にはユニバーサルデザインフォントが使用されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1時間の授業展開の中で思考・判断・表現する場面が設定してあり、学習の流れが分かりやすい構成になっている。</li> <li>巻頭では公民で意識したい学び方が示され、メディア情報の活用や表現活動による学習などが示されている。また、クリティカルシンキングについても考えさせている。</li> </ul>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 社会 (公民的分野))

No. 2

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活の関連についての工夫		(6) その他
J 帝国書院	<p>・図表、写真等の資料が豊富で、本文は具体的な例示や社会的事象の背景などが示してあり、読みやすい内容になっている。</p> <p>・1単位時間の学習内容が見開き2ページ収められている。標準授業時数100時間のうち97時間の設定になっており、予備時間が3時間設けられている。</p>	<p>・单元ごとに「章の問い」「節の問い」や章末の「章の学習を振り返ろう」など問いが構成されており、課題解決的な学習ができる構成になっている。</p> <p>・特設ページ「アクティブ公民」では実社会で起きうる問題に対してさまざまな立場から考察することを通して「深い学び」につなげられるように工夫されている。</p>	<p>・部や章の導入部分に学習内容が見通せるようにイラストを用いた「学習の前に」を設け、学習内容と実際の生活を関連づけることで興味・関心をもって学習に入ることができるよう工夫されている。</p> <p>・多くの二次元コードが配置しており、学習内容に関する動画や「章の学習を振り返ろう」の解答を見ることができ、興味・関心を持って学習できるよう工夫がされている。</p>	<p>・竹島問題について地図で場所が示してある。また本文に「日本固有の領土」「不法に占拠」等と記述されており、国家間の問題としてきちんと取り上げられている。</p> <p>・地理的分野・歴史的分野の学習を踏まえた上で社会科学学習のまとめとして深い学びにつながる「学習を振り返ろう」が設定されている。</p>	<p>・「よりよい社会を目指して」では実社会での取組や防災・減災を通じた社会参画について取り上げ、生徒へ主体的に社会に参画する意識を持たせる工夫がなされている。</p> <p>・「先輩たちの選択」では、様々な形で社会の中で貢献している人の姿を紹介しており、キャリア教育の視点も含まれている。</p>	<p>・コラム「未来に向けて」ではSDGsに関する項目にはSDGsマークが付けられている。</p> <p>・本文や図版では文字がはっきりと読み取れるようにユニバーサルデザインフォントが使用され、誤読がないように配慮されている。</p> <p>・巻末に「参考法令集」を掲載し、重要法令を補完している。</p>	<p>・見方・考え方を使った思考力・判断力・表現力の育成という学習指導要領の主旨に適したものであり、地理的・歴史的分野、他教科、SDGsなどとの関連性も明示され教科横断的な指導がしやすい。</p> <p>・実社会に興味を持たせるイラストや写真、統計資料などを用いて社会参画への意識を高める内容となっており、さらに深い学びにつながる「問い」が充実している点が優れている。</p>
O 日本文教出版	<p>・図表、写真等の資料が多く、多くの資料を通して考え、学習を進めていけるように工夫されている。</p> <p>・章末に学習内容を整理するページが設けられ、重要語句の定着を助けるよう工夫されている。</p>	<p>・单元ごとに「見方・考え方」「深めよう」などの学習課題解決のためのヒントや学習課題の理解を深めるための問いが示してあり、常に学習課題を意識して取り組めるようになっている。</p> <p>・情報スキルや思考ツールを利用した整理の仕方が身に付けられるよう配慮されている。</p>	<p>・各編の最初にマンガを用いて学習内容を紹介することで、生徒の興味や関心を高めるよう工夫している。</p> <p>・「チャレンジ公民」や「明日に向かって」で身近な話題を取り上げることで、学習への関心を高め、社会参画を促す工夫がなされている。</p>	<p>・「明日に向かって」では社会に参画する手がかりが示してあり、社会の一員として自分に在り方に考えることができるように工夫がされている。</p> <p>・竹島問題について、「公民+α」で特設コーナーが設けられており、「竹島資料室」の写真の掲載や本文中には韓国に「不法に占拠」されているとの記述がある。</p>	<p>・特設コーナー「アクティビティ」ではさまざまな資料を通して「見方・考え方」などを用いて学習内容を深められるように工夫されている。</p> <p>・終章では、社会科学学習のまとめとして、「持続可能な社会」をめざすための課題解決について、具体的な方法や例を示し、社会への参画を促している。</p>	<p>・二次元コードによってデジタル教材が利用でき、さまざまな情報や資料を見ることができ、実際の点字を載せて理解できるような工夫がされている。</p>	<p>・各編(章)や各単元で「見方・考え方」が示されており、課題解決の手がかりとなるよう配慮されている。</p> <p>・多くの写真や統計資料、グラフなどが掲載されており、社会的事象を多角的にとらえられるように工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 社会 (公民的分野))

No. 3

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活の関連についての工夫		(6) その他
Q 自由社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見開き2ページ1単位時間を原則として構成されており、その中に写真や資料が大きく掲載されている。また、重要用語や新出用語などの解説が詳しく書いてある。</li> <li>・巻末の法令集を除いた総ページ数は224ページで、72単元で構成されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きページには学習のきっかけや追求の中心となる資料や学習課題が提示され、学習後には「ここがポイント」として内容のまとめが示されている。</li> <li>・章末の「学習のまとめと発展」では重要語句の確認や表現力の向上につながるまとめができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ミニ知識」や「もっと知りたい」を設けて単元の内容を深めたり、さらに探究したりすることができるよう工夫がされている。</li> <li>・学習内容に関連した歴史上の人物や写真が多く掲載されており、生徒の興味・関心を持たせるよう工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹島問題について、本文中だけでなく1ページ以上にもわたる特設ページを設け、竹島問題の経緯と国の取り組みが掲載されている。</li> <li>・参議院議員選挙の島根と鳥取の合区、特定枠について取り上げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終章では卒業論文やディベートについて記載があり実践例を通して取り組めるように工夫がされている。</li> <li>・「もっと知りたい」では、現代社会の課題となる事象を多く取り上げ、学習内容と生活を関連づける工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭やコラム「もっと知りたい」では日本の技術や伝統・文化や現代の課題について紹介し、日本についてさまざまな見方ができるようにしている。</li> <li>・巻末の法令集で41もの法令を掲載し、本文の内容に関連するものを多く取り上げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くのページを割いて日本の技術や伝統文化、また歴史で学習した人物を取り上げ、歴史的な積み重ねの上で現在の社会が成り立っていることを学習できるような内容となっている。</li> <li>・章末のまとめや「アクティブに深めよう」では、400～600字で課題についてまとめられる発展的な学習が設定されている。</li> </ul>
R 育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「スキルアップ」では公民の基礎的な技能が身に付けられるようにさまざまなシンキングツールが示されている。</li> <li>・図表や写真等の資料や学習内容に関連した条文や法令、条約などを多く掲載し、生徒の理解につながるように配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・章の最初にある「入り口」で、その章で学んでいく内容を貫く課題に取り組み、章末の「これから」ではその章で学んできた内容を生かして振り返りができるような構成にしている。</li> <li>・毎時間の学習では見開きのページのはじめに「学習課題」を示し、終わりに学習内容が理解できているか確認したり、学習内容を深めたりできるように問いが設定されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習を深めよう」では本文で学習したことをより詳しく説明したり、関連する情報を紹介したりすることで生徒の興味・関心が引き出すような工夫がされている。</li> <li>・「やってみよう」では、個人やグループでの作業や活動を通して学習を深めていけるよう工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹島について特設のコーナーを設け、韓国と日本の主張を載せることで、日本の正当性をより強く主張した内容となっている。</li> <li>・全国の主な祭りや出雲大社の神在祭が紹介されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やってみよう」では「お小遣いの使いみちを考えよう」や「いつ旅行に行くか考えよう」など実生活に関連する事柄から学習できるように工夫がされている。</li> <li>・巻頭、巻末で持続可能な開発目標(SDGs)について大きく取り上げ、「SDGsの五つのP」というキーワードを提示し、持続可能な社会への取組の重要性について意識付けがなされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会科のまとめ」としてこれからのような社会にしたらいいか、手順をおってレポートを作成できるように示している。</li> <li>・「日本の伝統文化」という特設ページで多くの写真を用いて信仰、芸道などの伝統文化をまとめて紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地理や歴史との関連と現在から自分の過去・現在・未来を考えさせ、公民学習と自分との関係について意識できるように示されている。</li> <li>・「学習を深めよう」の特設コーナーでは社会の課題に関する多くの資料を掲載し、社会的事象を多角的に探求できるように工夫されている。</li> </ul>

選定に必要な資料 (種目名 地図)

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の 実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活 との関連についての工夫		(6) その他
A 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>不要な立体感をなくしたフラットデザインや、UDフォントと落ち着いた彩色を採用している。</li> <li>全体を通して資料や写真が大きく掲載しており、読み取りやすいよう工夫されている。</li> <li>縦見開きで地球儀を3分割した地図があり、大陸部分を中心に世界の位置関係をとらえやすいよう工夫されている。(p. 29, 61, 67)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域のページは、「一般地図」, 「基本資料」, 「テーマ資料」の順で配列され、学習に利用しやすいよう工夫されている。</li> <li>「ジャンプ」マークにより、関連する資料とページが示されており、資料を他のページの資料と関連付けて考えられるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般地図のタイトル枠の下部の「各地域で注目したい記号」や、資料のページのキャラクターの吹き出しで学習への関心をもたせ、課題に取り組みやすくさせる工夫がある。</li> <li>各地域の資料の最初に海底の地形を含めた鳥瞰図を示し、興味や関心を高めるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国地方の地図に竹島の拡大図が掲載され、日本周辺の地図では竹島の航空写真とともに日本固有の領土であることや領土問題に関する記述がある。(p 97, 190)</li> <li>中国地方の地図に、世界遺産である石見銀山などの遺跡や隠岐のジオパークが掲載されている。国宝の松江城や資料ページの山陰自動車道の開通状況の掲載について配慮がほしい。(p 97, 98, 103, 104)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の特集でSDG sを取り上げ、現代社会の諸課題を的確に捉え、その解決に主体的に取り組む態度を育てるよう工夫されている。(p. 7-14)</li> <li>各地域のページの前に世界全体のページが設けられ、豊富な資料により世界における各地域の特色や地域間の結びつきが捉えやすいよう工夫されている。(p. 15-28)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Dマーク」の示す箇所では、巻頭の二次元コードからアクセスすると様々な関連情報を閲覧できる。</li> <li>「テーマ資料」の後に歴史的及び公民的分野でも活用できる資料が豊富に掲載されている。(p. 39, 40, 66, 95, 96, 131, 132)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地形図に加え、3分野全てに関連する写真や資料が豊富に掲載され、3年間の社会科学習全体で活用できるよう工夫されている。</li> <li>現代社会の課題であるSDG sを大きく取り上げ、その解決について主体的に考えることができる構成になっている。</li> </ul>
J 帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> <li>A 4判に大判化された紙面で情報が読み取りやすく、特に地域の特色や地域間の結びつきが捉えやすいよう工夫されている。</li> <li>UDフォントや縁取り文字を使用し、濃淡がはっきりした彩色を採用している。</li> <li>地図帳の基本的な見方や使い方が解説された「地図の使い方」が巻頭で掲載され、小学校で身につけた技能が生かせるよう配慮されている。(p 5-8)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の地域の学習では、地図中に同緯度同縮尺の日本が、資料には「日本との結びつき」が示され、日本を意味した学習を行うのに適した構成になっている。</li> <li>各地域の同一ページ内の資料図が同縮尺で示され、それぞれの資料を比較したり関連付けたりしながら考察できるよう配慮されている。</li> <li>土地利用の凡例が各ページに掲載されており、生徒が読み取りやすいよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の6州全てにイラスト入りの鳥瞰図が掲載され、立体的に地域の特色や人々の生活を捉え、生徒が興味をもって学習できる構成になっている。</li> <li>随所に「地図活用」と題された問いが設けられ、生徒が興味をもって学習に取り組む工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国地方の地図で、竹島の標高色別の拡大図が掲載されている。日本列島の折り込み判地図では、韓国との国境が示され、竹島が日本固有の領土であることが読み取りやすい。同ページに竹島の航空写真が掲載され、領土問題に関する記述がある。(p. 80-82, 89)</li> <li>中国地方の地図のページ内に隠岐諸島が別枠に囲まれることなく掲載され、位置や距離が掴みやすい。(p 90)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の全ての地域の資料の中で、「日本との結びつき」を取り上げ、各地域と日本との関係を追究しやすいよう工夫されている。</li> <li>日本の全ての地域の資料の中で、「環境」「防災」の取組が掲載され、それぞれの地域に応じた防災の視点により、防災についての意識や関心が高まるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ページタイトル横の二次元コードから、学習を支援する豊富なデジタルコンテンツを利用することができる。</li> <li>地図を通して生徒が主体的に学び、社会的な見方や考え方を働かせることができる「地図活用」の問いが多数設けられており、資料活用能力が高まるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大判化による紙面を生かし、地図ページの表示が大きく、地域の特色や地域間の結びつきがより捉えやすい点が優れている。</li> <li>「地図活用」の問いを設定したり、二次元コードによる豊富な資料を閲覧できるようにしたりすることで、授業でも家庭学習でも主体的に地図を活用し、思考力・判断力・表現力が育成できるよう工夫されている。</li> </ul>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 数学 )

No.1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
A 東京書籍	<p>・「例」ごとに「問」も設定されており、問題量も適当である。また、「例」と似た問題には印がついていて一目でわかりやすく、問題を追加する場合には巻末に「補充の問題」があるなどいろいろなニーズに対応できるような配慮がされている。</p> <p>・小学校の学習内容からのつながりがあり、既習事項を振り返りながら学習できる工夫がされている。(1年 p. 32, 60, 120)</p>	<p>・1つの題材を導入に使い、同じ題材を発展問題でも使う工夫がされている。(1年 p. 9, 18, 39, 52)</p> <p>・教科書に書き込みがしやすいような工夫や余白、問いに対する補助発問があり、優れている。(1年 p. 81, 92, 155, 3年 p. 43)</p> <p>・教科書に登場する2人の生徒の会話が効果的で、理解を高めるための補助として優れている。(1年 p. 77, 209)</p>	<p>・各章の導入や利用の場面では、生徒が興味を持ちやすいような実生活の内容が数多く扱われている。(2年 p. 59, 3年 p. 127)</p> <p>・3年「円」の導入では、写真を撮った位置を考える問題を扱い、付録教材を利用して実験ができるようにしてあり、学習意欲が高まる工夫がされている。(3年 p. 166)</p>	<p>・島根県の県章や建築物などが登場し、島根の生徒にとってなじみがある内容が多い。(1年 p. 185, 188)</p> <p>・誤答を示し、間違えた理由を考えさせる問題があり、自分の考えを記述したり、問題を解くうえで整理したりすることについて優れている。(1年 p. 24, 3年 p. 20)</p> <p>・証明の意義を多角形の内角と外角で学ぶように工夫されている。(2年 p. 99)</p>	<p>・社会科の時差、美術科のデザイン、スポーツなど、他教科と関連付けた題材を用いたり、専用のマークを表示したりする工夫がされている。(1年 p. 60, 154, 182)</p> <p>・「章の問題B」では、学習内容を利用して考えられる身近な問題を数多く取り入れる工夫がされている。</p>	<p>・中1等式の性質で、4つの性質すべてを簡潔に図で表していたり、両辺を入れかえても成り立つことを扱ったりして、理解を言葉だけでなくイメージさせようとする工夫がされている。(1年 p. 94)</p> <p>・めあての提示がしやすく、「方法知」としての振り返りがしやすい。</p> <p>・各単元に説明を促す場面があり、表現力を伸ばすことにとっても優れている。</p>	<p>・各章の導入で扱う内容がその章の応用問題にまでつながりがある。(1年 p. 61-82)</p> <p>・基本問題から活用問題まで量的に、難易度的に、内容的にも程よい。(章の問題Bが2ページの分量)</p> <p>・色使い、レイアウトなど見やすい教科書である。</p> <p>・資質・能力を身につけるための教材と展開が載せられていて、大変優れている。</p>
B 大日本図書	<p>・学習の初めに「めあて」と表記し、このページで身につける力が生徒にわかるように書いてある。(1年 p. 86など)</p> <p>・全体を通して、内容、程度、分量ともに適切である。</p>	<p>・「活用・探究」が生徒の会話方式に設定されていて、授業で対話的で深い学びになるようにしてある。(1年 p. 98, 123)</p> <p>・見開き2ページを小節として構成されており、「活動」や「考えよう」を中心に「めあて」を意識した学習が取り組めるようにしてある。</p>	<p>・より深く学びたい生徒に対して、興味深い内容を提供している。(2年 p. 38)</p> <p>・実在する人たちのやり取りから単元に入る導入を扱っている。(3年 p. 78)</p>	<p>・自動車の燃費を扱う問題は、自動車所有率の高い島根県にとって、この問題を家族で話題にすることができる。(1年 p. 256)</p> <p>・証明の意義を多角形の内角と外角で学ぶようにしてある。(2年 p. 109)</p>	<p>・各単元の導入場面において、身のまわりの問題解決事象が提示してある。(2年 p. 66)</p> <p>・他教科との関連がある内容については、専用のマークを表示している。(3年 p. 187)</p>	<p>・各章の最後にある「発見! 仕事のなかの数学」は、キャリア教育とのつながりがあるように扱っている。(1年 p. 65, 163, 200, 263)</p> <p>・各単元に説明を促す場面があり、表現力を伸ばすことができる。(2年 p. 128)</p>	<p>・計算問題の途中式に解説や考え方を丁寧に書いてあり、つまづきを抑える工夫がある。(1年 p. 49, 106, 107, 108)</p> <p>・単元の並びが系統だっているため思考がしやすく、資質・能力を育むために適切である。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 数学 )

No.2

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
E 学校図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正負の計算では「計算力を高めよう」というページがあり、基礎力を高める内容を扱っている。(1年p35, 53, 88, 111)</li> <li>・巻末にはこれまでの学年の復習問題や、その学年の復習問題(その中でも特に基本となる問題はマークあり)、総合問題など、問題演習量が充実している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上の学年の数学の内容が紹介されていて、知的好奇心をくすぐる表現がある。(1年p77, 87)</li> <li>・小節ごとに、問題解決のためにどんなことを学び、どんなことがわかったかまとめるための参考となるまとめが記載されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入で、付録のカードゲームや窓の開き具合を扱い、実際に操作して考えさせる工夫がされている。(1年p21, 130)</li> <li>・「Tea Break」では、生徒が興味・関心を抱くようなトピックがいろいろと紹介されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな形の水槽に水を入れる問題を扱い、考え方を広げている。(1年p128-129)</li> <li>・章の初めに振り返りのページがあったり、章末問題が基本→応用→活用→深めようとあって、家庭学習が効率的にできるようにしている。(1年p127, 160-164)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・章末には、「役立つ数学」の記載があり、学習した内容が実生活のどういった場面で活かされているのかわかるようにしている。</li> <li>・章のまとめの問題「活用」では、扱った問題に関連する職業・仕事を紹介されており、数学と将来の職業がつながっていることを意識させている。(3年p41, 71, 131, 224, 240)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトの基本的な使い方の説明やよさを扱っている。(1年p259-260)</li> <li>・巻頭に教科書に用いられる単位がまとめられ、国際的な表し方を意識できるようにしてある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習内容(過去)を振り返るだけでなく、学習した内容(現在)がどのように広がっていくのか(未来)がわかるようにしている。(1年p121, 264)</li> <li>・単元の並びが系統だっているため思考がしやすく、資質・能力を育むことができる。</li> </ul>
G 教育出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を通して、内容、程度、分量ともに適切である。</li> <li>・「たしかめ」、「問」、「基本の問題」、「補充問題」など演習問題が充実しており、基礎・基本が身につくように配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい章に入る前に、その章で扱う内容に関連した既習事項を復習できるページが設けられており、新しい学習とこれまでの学習をうまくリンクさせている。(1年p68, 3年p46)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車のナンバーや駅伝大会の順位変動を扱い、生徒が関心をもって取り組めるようにしている。(1年p59, 121-123)</li> <li>・より深く学びたい生徒に対して、興味深い内容を提供している。(3年p40)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出生数を扱う問題では、身の回りの地域の出生数を調べるために図書館を活用したり、地域の実態を調べたりすることにつながっている。(1年p256)</li> <li>・変化の割合の意味と傾きの定義との接続を数学のモデルの中で実感を伴って学ぶようにしてある。(2年p78)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の導入場面において、身のまわりの問題解決事象が提示してある。(3年p80)</li> <li>・数学的な考え方にはどのような考え方があるのか巻頭のところにこれまでの学年の学習を振り返りながら確認できるページがあり、「数学」を学習するうえで大切な視点を意識できるようにしてある。(3年p8-11)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあての提示がしやすく、「方法知」としての振り返りもしやすい。</li> <li>・巻末の「学びのマップ」では、これまでの学習内容とその学年の学習内容とのつながりを図で表してわかりやすく示してあったり、これまでの学習を要領よくまとめてある。(3年p240)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的な考え方の大切な項目を簡潔に表記し、常に意識できるようにしてある。(1年p11, 12)</li> <li>・単元の並びが系統だっているため思考がしやすく、資質・能力を育むために適切である。</li> </ul>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 数学 )

No.3

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
L 新興出版 社啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「章末問題」と「力をつけよう」のすべての問題の考え方や詳しい解説がQRコードを利用して見ることができるよう配慮されている。</li> <li>・「みんなで学ぼう編」では、比較的基本問題となる「問」が多く、数学が苦手な生徒にも取り組みやすいように工夫されている。</li> <li>・正負の加法で、符号を書く空欄と絶対値を書く空欄を設け、計算をさせる際に2つのことの意識を高める工夫がされている。(1年p23)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・章末問題の各問題の脇に、既習したページが書いてあるため、各自で振り返ったり調べたりしやすいような工夫がされている。(1年p52, 53, 82, 83など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学ライブラリーでは、既習事項を使って「数あてマジック」や「モバイル」などを考えるようになっていて、自分で問題を作れるような工夫がされている。(1年p81, 141)</li> <li>・QRコードから統計ツールが利用できるようになっており、実際に数値を入力してヒストグラムや箱ひげ図を作成することができ、生徒の興味が高まるような工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の導入問題が会話式のため、読み取る力と数学的な思考力を身につけられる問題になるよう工夫されている。(1年p56-57, 86-87, 112-113, 146-147)</li> <li>・証明の意義を学ぶときに、三角形の合同条件を根拠にしたもので学ぶので、以後繰り返して、「図が代表であること」を学ぶことに配慮されている。(2年p113)</li> <li>・変化の割合の意味と傾きの定義との接続を数学のモデルの中で実感を伴って学ぶことに工夫がされている。(2年p68)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習への自己評価、既習事項のまとめの問題、身の回りにおける事象をとらえる問題が、巻末から始まるよう工夫されている。(1年巻末p1-68)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展開図を書き込む問題の方眼が大きくとってあるため、記入しやすい配慮がされている。(1年p184, 186)</li> <li>・めあての提示がしやすく、「方法知」としての振り返りもしやすい。</li> <li>・各単元に説明を促す場面があり、表現力を伸ばす工夫がされている。(2年p153)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の並びが系統だっているため、問題が平易である。また、教材が数学のモデルの中で思考しやすいものになっている。</li> <li>・実際の生活で起こるような問題を考えさせるとともに、「どのように考えたかな?」、「何年後かな?」という問いかけが生徒の興味関心を高め、対話的な学習へとつながる工夫がされている。(1年p68, 99, 137)</li> </ul>
N 数研出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を通して、内容、程度、分量ともに適切である。</li> <li>・アルファベットの表記の仕方や、速さと出発時間の違う問題での3種類の図の掲示など、生徒のつまづきを抑える配慮がある。(1年p63, 116-117)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい章に入る前に、その章で扱う内容を復習できるページが設けられており、新しい学習とこれまでの学習をうまくリンクさせている。</li> <li>・文字式の計算で、一貫して面積図を用いての説明や確認ができるようにしている。(1年p78-81)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本冊の内容を深めるための課題や、これまでに学んだ内容を総合的に活用して解決する課題を別冊で扱い、生徒が本冊で興味・関心を抱いた話題を深められるようにしている。</li> <li>・個数と重さの関係を2つの具体的な事象で比べることで、関数の意味が理解できるように扱っている。(1年p124-125)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正負の数を使って表すときの考え方の違いの説明や、計算の仕方がなぜ間違っているか説明する問題があり、深い学びにつながるよう扱っている。(1年p19, 85)</li> <li>・証明の意義を学ぶときに、三角形の合同条件を根拠にして学ぶように扱っている。(2年p129)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比例と反比例の利用では、「ペットボトルキャップの回収とワクチンの寄付」や「電子レンジの加熱時間」について扱い、現実的な問題と数学を結び付けている。(1年p148-151)</li> <li>・各単元の導入場面において、身のまわりの問題解決事象が提示されている。(3年p217)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあての提示がしやすく、振り返りがしやすい。</li> <li>・各単元に説明を促す場面がある。(3年p123)</li> <li>・巻末に、「数学旅行」という興味を引くネーミングの特集があり、身の回りに潜む数学を探究することができる。(1年p249-260)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の並びが系統だっているため、思考がしやすく、資質・能力を育むために適切である。</li> <li>・付録の道具を使った宝探しを導入で扱い、既習した作図を使って考え直すといった問題があり、興味・関心を高めながら深める学習へと構成されている。(1年p169, 176)</li> </ul>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 数学 )

No. 4

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
○ 日本 文 教 出 版	<p>・例のあとの「問」や、巻末の「補充問題」では基礎基本を定着でき、問題量が充実している。</p> <p>・基礎基本の計算を何度も手軽に行うために、数と数の間に＋、－、×をあえて書かない工夫がされている。(1年 p 4 4)</p>	<p>・新しい章に入る前に、その章で扱う内容に関連した既習事項を復習できるページが設けられており、新しい学習とこれまでの学習をうまくリンクしている。</p> <p>・チャレンジ問題の答えが次ページに載っているため、確認がしやすい。(1年 p 2 5-5 3)</p>	<p>・座標平面を扱う際に、一つの建物を基準にして他の建物の位置を東西南北で表すことと結び付けている。(1年 p 1 3 4)</p> <p>・巻末の「暮らしと数学」、「数学研究室」では、学習内容がどういった場面で活かされているのかがわかる。</p>	<p>・巻末に切り外すことができる「対話シート」があり、主体的・対話的で深い学びを手助けする配慮がある。(1年 p 3 0 1-3 0 8)</p>	<p>・各単元の導入場面において、身のまわりの問題解決事象が提示してある。(2年 p 1 6 2)</p>	<p>・扱う問題に「身近なことがら」とあえて表記し、数学と生活が結びついていることを常に意識させている。</p> <p>・各単元に説明を促す場面があり、表現力を伸ばすよう扱っている。(1年 p 1 5 9)</p>	<p>・次の章に入る前に関連する内容を復習するページがあったり、見開きで1つの内容の文章問題を扱ったりしている。(1年 p 1 1 2-1 1 9, 1 2 3 など)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 理科 )

No.1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の 実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活 との関連についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<p>・ 1 ページに観察・実験の手順（目的・方法・結果の見方・考察のポイント）がまとめて示してあり、見通しを持って観察・実験ができるように工夫されている。（1年 p 1 1 1）</p> <p>・ 発展的な内容については、高等学校との関連を示し、過度な負担にならないよう配慮されている。（3年 p 5 7）</p>	<p>・ 節ごとに、問題発見から分析解釈までの流れが統一され、見開きごとに授業 1 時間の内容が書かれているなど、使いやすい構成に工夫されている。（2年 p 2 2, 2 3）</p> <p>・ 実験・観察の準備がしやすく、結果が分かりやすくなるように配慮されている点が優れている。（3年 p 4 1）</p>	<p>・ 巻頭や単元の始めなどに、鮮明な写真を掲載し、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。</p> <p>・ 科学史における重要な人物や発見を漫画にして掲載し、興味・関心を高めたり、理解を深めたりすることができるよう工夫されている点が優れている。（1年 p 6 0）</p> <p>・ 隠岐ジオパークが掲載されており、地域に素晴らしい環境があることが認識できるものになっている。（1年 p 2 5 8）</p>	<p>・ 自分の考えを文章で書いて表現する活動が多く取り入れてある。「ノートに書いてほかの人と比べよう」等の表記もあり、生徒の思考力・判断力・表現力等を高めることができるよう配慮されている点が優れている。（3年 p 3 3）</p> <p>・ つまづきやすい内容について「例題・練習確認」の問題やデジタルコンテンツが用意され理解しやすいよう工夫されている。（1年 p 1 0 9）</p>	<p>・ コラム「科学の本だな」があり、興味や関心を持った生徒がさらに学びを深めることができるように配慮されている。（1年 p 1 4 1）</p> <p>・ 導入で日常的に目にする現象を多く取り上げるとともに、随所にある「つながる科学」で、日常生活や社会との関連を持たせることができるよう工夫されている。（3年 p 3 9）</p>	<p>・ Dマークを設け、学習を補完するデジタルコンテンツや学習を深める Web サイトへリンクできるようになっている。（2年 p 4 4）</p> <p>・ 全学年巻末にペーパークラフトが付けてあり、興味・関心を高め、空間的に認識する内容の理解に役立つように工夫されている点が優れている。</p>	<p>・ 各観察・実験後には「学びをいかして考えよう」が設けてあり、日常生活や社会と結びつけながら思考力を高めることができるように工夫されている。（2年 p 1 3 9）</p> <p>・ 随所に「つながる科学」のコーナーを載せ、学習内容と日常生活や社会との関連をもたせることで、学ぶ意義を実感できるよう工夫されている。</p>
B 大日本図書	<p>・ 各単元の巻頭に、小学校からの復習や単元の見通しを見開きで表示されており、学習に対する導入を円滑に進められるように配慮されている。（1年 p 1 0, 1 1）</p> <p>・ 「探究活動」の章が各単元ごとに設定されており、設定された課題を解決することで、生徒が主体的に学習できるような構成になっている。（3年 p 1 5 6, 1 5 7）</p>	<p>・ 写真や図を多数取り入れ、視覚的な情報が増やすことによって、生徒が学習しやすいように配慮されている。（1年 p 4 6, 4 7）</p> <p>・ 実験・観察では、操作上の注意点を黄色で表示して注意を促したり、手順や結果のまとめが複雑なものは見開きのページで表示したりするなど、生徒に分かりやすく説明されている。（2年 p 1 6 8, 1 6 9）</p>	<p>・ 各章の巻頭にインパクトのある写真を大きく掲載することで生徒が興味を持てるように配慮されている。（3年 p 1 6 4, 1 6 5）</p> <p>・ 随所に実験している写真や身近なものを扱った写真をのせることで、学習に対する関心を高められるよう配慮されている。（2年 p 5 4, 1 9 8）</p> <p>・ 随所にある「科学のあしあと」が掲載され、日本史にも触れることで生徒の興味・関心意欲を高められるよう工夫されている。</p>	<p>・ 各章末に章末問題があるが、「単元末問題」と「読解力問題」に分けられており、問題を解くことで、読解力や単元に関する思考力や、学習した内容を活用できる力を高められるよう工夫されている。（3年 p 2 2 2）</p> <p>・ 器具の操作やスケッチの仕方などの基礎的な操作が観察、実験ごとに掲載され、操作方法を再確認できるよう工夫されている。（2年 p 8 6, 8 7, 8 8）</p>	<p>・ 巻末に「理科の学習と算数・数学」が掲載されており、学習していく中で出てくる各教科との関連性（特に数学）を配慮し、学習において生徒がつまづきやすい部分を分かりやすく解説されている。（1年 p 2 8 4, 2 8 5）</p> <p>・ 随所に「science press」のコーナーが設けてあり、学習内容と実生活との関連や科学技術との関連が分かるように配慮されている。（3年 p. 2 2 3）</p>	<p>・ 巻末に「行ってみよう科学館・博物館」が掲載されており、科学分野が身近なものになるように工夫されている。（1年 p 2 7 8, 2 7 9）</p> <p>・ 巻末に「科学のあゆみ」が掲載され、現代科学にも様々な積み重ねがあったことが分かるようになっている。（3年 p 3 7 2）</p>	<p>・ 実験方法を見開きにしたり、写真を多用したりすることによって、視覚的に内容を把握しやすいつくりになっており、生徒が学習に向かいやすい構成である。</p> <p>・ 単元末に「探究活動」を取り入れるなど、学習内容を活用して生徒が主体的に取り組むことができる場面を意図的に設定することで、教員側の負担を軽減させられるように工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 理科 )

No.2

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫	(6) その他	
E 学校図書	<p>・観察・実験の結果や考察の内容がわかりやすくまとめられており基礎的・基本的な内容が身につくように工夫されている。(1年p 27, 28)</p> <p>・実験を行う時に、「あなたの仮説」(2年p 37)や、「あなたの計画」(1年p 91)など生徒の思考力や判断力を引き出そうとする実験方法になっている。</p> <p>・授業をうけるコツ、ノートのとり方、QRコード等により家庭学習での活用もできるよう配慮されている。</p>	<p>・各単元の前に、「学びのあしあと」「振り返ろう・つなげよう」の項目が掲載されており、小学校から中学校までの既習事項と、これから学習する単元との系統性がわかりやすくなっている。</p> <p>・探究の進め方が統一されており、気づき、課題設定、仮説、検証、観察・実験、結果、考察となり、自ら調べまとめることができるように工夫されている。</p>	<p>・日常生活との関連や自分でできる実験方法の紹介など、生徒の興味・関心を引くように工夫がされている。(1年p 154, 155)</p> <p>・生徒の意欲を喚起するため写真や図表については、イラストではなく、できる限り実際の写真などで提示するよう配慮がほしい。(1年p 102, 103, 115)</p>	<p>・2年生では、たたら製鉄の様子や玉鋼が資料として掲載されているが、写真に地名等の表記がなく、雲南市であることがわからない。(2年p 65) 地層や岩石、生物などの写真には、撮影した日本の地名を入れるなどの、配慮がほしい。</p>	<p>・単元末に、「学びを日常に生かしたら」というページを設け、(1年p. 126) 家庭でも生徒が自学自習できるよう工夫されている。</p> <p>・単元末に、「学び続ける理科マスター」というページを設け、より深い学びができるよう工夫されている。(1年p 124)</p>	<p>・各学年の教科書の最後のページはホワイトボードの代わりになるようにシートが作られており、自分の意見や考えを発表する際に活用できるよう工夫されている。</p> <p>・教科書の各所にQRコードが印刷しており、レポートの書き方や、読み物資料、動画などを見ることができるようになっている。</p>	<p>・既習事項の確認と学習内容のつながりがわかりやすく提示され学習の系統性が把握しやすいように配慮されている。</p> <p>・理科の学習の有用性や社会とのつながりがあることが生徒に伝わるように各学年の教科書の最初に用意され、工夫されている。</p>
G 教育出版	<p>・観察・実験の結果の欄が表の形で示されており、結果の整理がしやすいように配慮されている。</p> <p>・本文中に重要語句が朱色で示されていたり、(1年p 31) 公式が朱色の枠囲みで表示されたり、目立つよう工夫されている。</p>	<p>・観察・実験ページの「考察」と、次ページの「実験から」を対応させ思考や表現のしかたを確認できるように工夫されている。(1年p 103, 104)</p> <p>・物理のつまずきやすい内容には、「例題」を設け、公式の運用に慣れることができるように工夫されている。</p>	<p>・ミニコラムを含め、「ハローサイエンス」で生活や安全、環境などに関わる読み物を非常に多く掲載しており、生徒の興味・関心が高まるように工夫されている。</p> <p>・基礎操作や実験の図がイラストで書いてある。これらをイラストではなく、写真にして、実際の実物に近い形で表示になるよう工夫がほしい。</p>	<p>・「私のレポート」で考察の具体的な内容が例示され、生徒が考察の内容をまとめる際の参考とすることによって、思考力・表現力が育成できるよう工夫されている。(1年p 17)</p> <p>・2年生では、たたら製鉄の様子や玉鋼が資料として掲載されているが、写真に地名等の表記がなく、雲南市であることがわからない。(2年p 52) 地層や岩石、生物などの写真には撮影した日本の地名を入れるなどの、配慮がほしい。</p>	<p>・巻末資料に「理科で使う算数・数学」を設け、計算や単位を苦手とする生徒にもわかりやすくまとめてあり、配慮されている。</p> <p>・巻末に今年で学習した内容の基本問題と総合問題、基礎技能がまとめて掲載されており、自学自習できるように配慮されている。</p>	<p>・巻末資料では、自由研究の事例が多く示されており、生徒がさらに学習を進める際に役立つよう工夫されている。</p> <p>・巻末に1年「生物カード」2年「原始のモデルカード」3年「星座早見盤」が用意しており、物づくりができるよう配慮してある。</p> <p>・巻末に今年で学習内容と次学年で学習する内容が掲載されており、学習のつながり継続性が配慮されている。</p>	<p>・全体がコンパクトにまとまっており、要点をつかみやすい紙面構成になるように工夫されている。</p> <p>・重要語句を目立たせたり、内容別に例題を設けたり、レベル別のまとめ問題を用意するなど習熟度に配慮した対応ができるよう工夫がされている。</p> <p>・イラストの使用が多く見られるが、実際の鮮明な写真の方が生徒の意欲喚起には有効であると考えられる。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 理科 )

No.3

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
L 新興出版社啓林館	<p>・全ての単元の導入に「つながる学び」が設けてあり、既習事項と関連付けて学習に取り組めるように配慮されている。(2年p4)</p> <p>・新しく認知された地質時代の一つである「チバニアン」(千葉県)の地層)を取り上げ、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。(1年p109)</p>	<p>・「学ぶ前にトライ!」で単元内容に関わる問いについて考え、「学んだ後にリトライ!」で自分の考えがどのように変容したのか確認する内容になっている。(3年p47,93)</p> <p>・見開き中央部分に本文が掲載されるようにレイアウトし左右に様々な情報を載せ、生徒の理解が深まるよう工夫されている点が優れている。(1年p28,29)</p>	<p>・自分の考えを自由に書き込むことができる「探Qシート」が巻末にあり、主体的に探究活動に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>・「科学コラム○○ラボ」では部活・料理・仕事等と科学の関連について取り上げ、日常生活と理科を結び付け、興味・関心を高めることができるよう工夫されている。(1年p53)</p>	<p>・実験の安全対策や注視点について、マークと簡潔な言葉を組み合わせで分かりやすく示してある。特に事故発生予防が必要な実験には方法の「ステップ0」で安全確認するようになっている。</p> <p>(2年p176)</p> <p>・単元の最後には、「みんなで探Qクラブ」等のコーナーがあり、身に付けた探究の力を発揮できるように工夫されている。(3年p170)</p>	<p>・算数・数学(計算)、社会科(等高線・地理分野)、国語(古典)、家庭科(熱量)を囲み枠で示し、教科横断的に学習できるようになっている。(1年p169,2年p98,3年p61)</p> <p>・単元の最後に学習した内容を社会や未来に広げる読み物「ひろがる世界」を掲載し、生徒に理科の有用性が伝わるように工夫されている。(3年p100)</p>	<p>・各学年とも科学分野の学習前には「サイエンス資料」を配置し、実験器具の扱い方や安全への配慮等を掲載している。(1年p130-137)</p> <p>・タブレット端末に二次元コードをかざすと動画や問題を見ることができ、自分のペースで学習を進めることができるよう工夫されている。</p>	<p>・新しい教材(地質時代)や地元の教材(江津市の風力発電)を取り上げ、生徒の興味・関心や追究意欲を高めるよう工夫されている。(1年p109,2年p95)</p> <p>・二次元コードが多量のページに掲載されている。様々な動画や問題を見ることができ、自主的な学習ができるよう工夫されている。(1年p2,13,55)</p>

選定に必要な資料

(種目名 音楽・一般)

No.1

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
G 教育出版	<p>・「Let's sing!」では、発声や旋律のまとめり、形式などについて分かりやすく整理され、基本的な内容の定着を図ることができる構成になっている。</p> <p>・「歌のアルバム」では、幅広いジャンルを取り上げ、多様な楽曲を通じて学習活動に取り組むことができるよう工夫されている。</p>	<p>・教材ごとに学習するねらいや内容などが「学びのユニット」として表記され、学ぶ手がかりになるよう工夫されている。(全学年P4-5)</p> <p>・第1曲「火星」は前ページのボレロとの比較鑑賞としてだけでなく、小学校時に学習した「木星」との関連性もあり、内容の系統性に配慮したものとなっている。(上P33)</p>	<p>・「日本の歌 みんなの歌」は、教材ごとに写真と楽譜がまとめられ、情報を得られやすいように工夫されている。</p> <p>・「鑑賞教材の学習資料」では、折り込みを利用した3ページ構成でワイドなビジュアル図鑑となっており、多様な情報を見渡せ、学ぶ楽しさが広がる工夫がされている。(全学年巻末)</p>	<p>・「郷土の音楽や芸能」では、代表的なものを取り上げ、写真や説明を取り入れて、生徒が理解しやすいように工夫されている。(1年P30、上P46-49)</p> <p>・「音のスケッチ」では、全体の構成やリズム、強弱、旋律など、音楽を形づくる要素を総合的にとらえて表現活動に生かすことができるよう工夫がされている。(1年P34-35、上P26-29、下P22-25)</p>	<p>・「私たちのくらしと音楽」では、著作権を守ることの重要性や、アウトリーチ・音楽療法などによる音楽がもたらす可能性や有効性について理解を深める工夫がされている。(上P70-71、下P66-67)</p> <p>・「まなびリンク」は学習に役立つ情報(動画、音声、ワークシート)をウェブサイトで見ることができ、発展的に学習することができるよう工夫されている。</p>	<p>・「音のスケッチ」では、全体の構成やリズム・強弱・旋律など、音楽を形づくる要素を総合的に捉えて表現活動に生かせるように工夫がされている。</p> <p>・各ページに登場するキャラクターのつぶやきが学びのヒントとなり、生徒の思考を深める工夫がされている。</p>	<p>・ページ全体がすっきりと整理され、要点がまとめられた図や鮮明な写真を利用することで、生徒の学ぶ意欲をより高めることができるように工夫されている。</p> <p>・知覚・感受したことを記録し、それを活用しながら話し合い活動などを通して進んで学び合う学習が展開できるように工夫されている。</p>
H 教育芸術社	<p>・「My Voice!」「My Melody」では、発声や旋律のまとめり、形式などについて詳細に学ぶことができ、基本的な内容の定着を図るだけでなく、思考力・判断力・表現力を引き出す工夫がされている。</p> <p>・「心通う合唱」では、中学生の声域に配慮した混声合唱曲が適切に取り上げられ、効果的な指導を行うことができる。</p>	<p>・音楽科で身につけられる3つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材が一目でわかるように表記され、各ページには学習目標や共通事項、用語などが整理して示され、題材の学習内容が理解しやすく、学習を効果的に進めることができるように工夫されている。(全学年P8-9)</p> <p>・我が国の伝統音楽、伝統芸能について系統的に学習することで、自国や地域の文化に対する誇りをもち、グローバルな時代に対応する力をより効果的に育むことができる工夫がされている。</p>	<p>・「心の歌」は、鮮明な写真と歌詞・楽譜のページに分けて表記することにより、それぞれから知覚・感受したことを生かして、生徒の思考力・判断力・表現力を引き出すことができる点で優れている。</p> <p>・各界のプロフェッショナルから中学生へのメッセージが掲載され、音楽や芸術から学ぶ力や音楽的な見方・考え方に興味をもてるような工夫がされている。(全学年巻頭)</p>	<p>・日本各地に伝わる民謡、祭りや芸能を多く紹介し、地域や各学校の実態に応じた芸能を選択し、学習できるよう配慮されている。(上P68-69)</p> <p>・指揮・リズム打ち、唱歌などの体験活動を取り入れた実感を伴う学びが可能なページが充実しており、教科の特性を生かした効果的な指導が期待できる。(上P50-51、下P38、48、50)</p>	<p>・「生活や社会の中の音楽」では、音や音楽が生活や社会、文化とどのように関わり、どのような意味や価値をもつのか、生徒が考えることができるよう工夫がされている。(1年P66、上P72、下P68-69)</p> <p>・生徒にとって身近な場面で国歌が歌われることを紹介することにより、国歌を大切にすることを育てるとともに、他国文化への理解や敬意を深めることができるよう工夫されている。(各学年P99)</p>	<p>・「Let's Create!」では、イラストを効果的に使いながら、場面や音のイメージを創造できるように工夫されている。</p> <p>・各ページに登場するキャラクターのつぶやきが学びのヒントとなり、生徒の思考を深め、主体的・対話的な活動に繋がるような工夫がされている。</p>	<p>・領域(表現・鑑賞)の学習を関連づけた教材の選択、内容の系統性に配慮された題材の配列がされており、学習を効果的に進めることができる点で優れている。</p> <p>・取り上げられている楽曲の歌詞の内容や写真について、道徳教育や人権教育の観点に立って選択されており、個性を生かしながら他者を尊重し、学んでいくことができるよう配慮されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 音楽・器楽 )

No.1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫	(6) その他	
G 教育出版	<p>・前半「演奏の仕方を身につけよう」で基礎的な知識や技能を習得し、後半「合わせて演奏しよう」でアンサンブル曲を通して、奏法を確認したり楽曲の特徴を感受したりすることができるよう工夫されている。</p> <p>・各楽器の学習では、基礎的な技能と楽曲が関連づけて配置されており、演奏を通して技能が習得できるよう配慮されている。</p>	<p>・各楽器の学習ごとにどのように学習を進めたらいかがわかるように、学習のめあてが左ページの上部に示されている。</p> <p>・各楽器の導入では、それぞれの楽器の紹介や基礎的な奏法について、多くの写真を使って生徒が分かりやすくなるよう工夫されている。</p>	<p>・ギターとキーボードに対応したコード表では、ギターの押さえ方を写真で表示し、生徒に分かりやすくなるよう工夫されている。(口絵3)</p> <p>・「何が同じで何が違う?」では、様々な楽器の共通性と固有性について考え、特徴を理解するための書き込み欄が設けられ、自ら課題を見つけ、学習を継続的・発展的に進めていくための工夫がされている。</p>	<p>・「Let's Play!」「Let's Try!」では、各楽器の特徴を生かした合奏教材がクラシック、ポピュラー、民謡などから幅広く取り上げられており、事態に合わせて選曲できるよう配慮されている。</p> <p>・「With My Heart」では、家元からのメッセージが記載されており、今日的な課題を追究する学習につながる工夫がなされている。</p>	<p>・学習に役立つ情報(動画・音声・ワークシート)をウェブサイトで視聴できるように、目次にQRコードやURLが載せてあり、自分で情報を得ることができるよう工夫されている。</p> <p>・「何が同じで何が違う?」の発展のページでは、楽器の背景による文化や伝統について学習できるように工夫されている。</p>	<p>・箏の楽譜は、縦譜を大きく表示してあり、本来の記譜に触れながら演奏できるように工夫されている。</p> <p>・アルトリコーダーの学習では、楽譜にコードネームが表示されており、他の楽器とのアンサンブルが習得できるように配慮されている。</p>	<p>・幅広いジャンルの楽曲が掲載されており、生徒や学校の実態に沿った指導が行えるように配慮されている。</p> <p>・習得した技能を使って発展的な学習できるように構成されており、幅広く学習に取り組めるよう配慮されている。</p>
H 教育芸術社	<p>・各楽器の学習ごとに基本的な内容について写真を取り入れながらまとめられ、基本的技術が習得できるような楽曲が扱われることで、基礎基本の定着が図られるような構成がされている。</p> <p>・「アンサンブル」「My Melody」では、身につけた力をもとに、曲想にふさわしい表現を工夫したり、楽曲の構成を生かしたりすることができるよう配慮されている。</p>	<p>・音楽科で身につけられる3つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材が一目でわかるように表記され、各ページには学習目標や共通事項、用語などが整理して示され、題材の学習内容が理解しやすく、学習を効果的に進めることができるように工夫されている。</p> <p>・「アンサンブルセミナー」では学習目標が表記され、生徒がそれを意識しながら主体的に取り組むことができるよう配慮されている。</p>	<p>・各楽器の基本的な奏法以外に、それに関連する楽器が写真入りで詳しく紹介しており、生徒たちの興味・関心を高めていけるよう工夫されている。</p> <p>・「深めよう!音楽」では、具体的な手順とキャラクターによる吹き出しが充実しており、生徒が興味・関心をもって主体的に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>・アンサンブルのページでは、多様な楽器を組み合わせた魅力的な曲が充実しており、生徒や各学校の実態に応じて、いろいろな楽器でアンサンブルができるように工夫されている。</p> <p>・唱歌など体験活動を取り入れた実感を伴う学習が可能なページがあり、教科の特性を生かした効果的な指導ができる工夫がなされている。</p>	<p>・楽器ごとに演奏者の情報についてQRコードを載せており、自分で情報を得ることができるよう工夫されている。</p> <p>・和楽器の演奏に関することだけでなく、郷土の祭りや芸能と関連づけながら学習できるよう工夫されている。</p>	<p>・合奏でよく使われる打楽器やラテンパーカッションの基本的な奏法が、写真とともに分かりやすくまとめられている。(P70 - 74)</p> <p>・箏の楽譜は、縦譜と五線譜とが併記してあり、個々の生徒に応じて学習しやすいように工夫されている。</p>	<p>・様々な種類の楽器や奏法・楽譜・写真など豊富な情報が掲載され、いろいろな楽器の組み合わせを工夫しながら表現活動を行うことができる点で優れている。</p> <p>・各楽器の基礎・基本が定着できるよう構成されており、そこに身につけた力をもとに生徒や学校の実態に応じた学習活動ができるよう工夫されている。</p>

選定に必要な資料

(種目名 美術)

No.1

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
D 開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域ごとに扉ページを設け、学習内容やその魅力についての理解を深められるよう工夫されている。</li> <li>・各題材に「学習のポイント」として、生徒が学習を深めていくために大切なことを分かりやすくまとめた構成になっている。</li> <li>・2・3年を一冊にまとめることで保管しやすく、既習内容を振り返りやすくなるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発想や構想の方法や進め方が示され、生徒が制作過程を理解しやすく、完成までのイメージがわかりやすい構成になっている。(1年p41)</li> <li>・伝統工芸品や日用品、生徒作品を同じページに掲載することで関連性に気付いたり考えたりしやすい構成になっている。(1年p47)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各題材に掲載される著名な作品や生徒作品には作者のコメントや意図が記載され、生徒が自分の制作のヒントにしたり興味を持って鑑賞活動を行ったりできるよう配慮されている。(1年p20)</li> <li>・2・3年を1冊のワイド版としたりQRコードやURLを掲載したりといった、学習に効果的な資料や作品が閲覧できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末「学びの資料」では、制作時の発想を支える知識や技能が系統的にまとめられ、生徒の発想や構想の力を引き出すための配慮がなされている。</li> <li>・各地の郷土文化や造形などについて幅広く紹介されているが、島根県の作品や文化は掲載されていない点で配慮が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の視点から様々な職業人の美術との関わりを特集し、美術の力が社会でどのように繋がり、役立つのか理解を深められるよう工夫されている。(2・3年p6・7)</li> <li>・他教科と関連付けて学ぶことができる内容には記号がつけられ、教科横断的な指導がしやすいよう工夫されている。(1年p50, 51)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色の説明図では彩度の高低に黄系統を使い、少数派色覚の生徒も判別できるように配慮されている。(1年p63)</li> <li>・中学校以上で習う漢字には全てルビを記載し、文章体裁として意味のまとまりごとに改行位置を工夫することで文章の意味を捉えやすくするよう配慮されている。(1年p42)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各題材に併せて教科横断的な学びや地域社会との結びつきが記号や参考資料として紙面に配置されており、生徒の多角的、多面的な学びを深めることができるよう工夫されている。</li> <li>・多様な生徒の学びが等しく保障されるよう、教科書内に合理的な配慮が随所に効果的に配置されている。</li> </ul>
I 光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各題材で、参考作品の鑑賞から表現活動の発想や構想につながるレイアウトになっており、鑑賞と表現を関連付けて学びを深めていく学習に効果的である</li> <li>・絵や彫刻、デザインや工芸だけでなく現代美術やデジタル作品など多様で幅広い作品を扱うことで生徒が自分の主題に合う表現を選択できるよう工夫されている。</li> <li>・2・3年を一冊にまとめることで保管しやすく、既習内容を振り返りやすくなるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞作品の図版は、解説が初見で生徒に伝わらないよう次ページに記されるなど、実際の授業展開に配慮した構成になっている。(2・3年p48～53)</li> <li>・鑑賞題材では和紙を用いて版画作品の質感や特徴を示し、消失点を探る為のトレーシングペーパーが綴じられている。また、裏表に大判で刷られた作品2点が関連の深い作品となっているなど生徒が主体的に作品について考えられる構成であり、創意工夫次第で様々な鑑賞授業ができる点で優れている。(2・3年p13, 26・27)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなの工夫」として実際の生徒の制作過程が分かる図解が用意され、生徒が自分の制作の参考にしたり意欲を高めたりできるよう工夫されている。(1年p24)</li> <li>・「心ひかれるこの風景」では、校舎を例に魅力的な点を詳しく挙げており、生徒が発想や構想を広げやすくなるよう工夫されている。(1年p23)</li> <li>・様々な椅子のデザイン、和菓子など、身近な工芸品や伝統文化から、色や形について考えられるよう工夫されている。(2・3年p68)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習を支える資料」では、材料や用具、技法など様々な資料を掲載して具体例を紹介することで生徒が自分の制作に活用しやすいよう工夫されている。</li> <li>・印象に残るシンボルマークとして、島根県立美術館のロゴを掲載し、身近なところにもデザインとの関わりが存在していることに気付くことができるよう工夫されている。(1年p46)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の随所に他教科とのつながりを示すコラムが設けられ、美術の学びが他教科とどのようにつながるか理解できるよう工夫されている。(1年p43)</li> <li>・「地域の魅力を伝える」では、地域の魅力を商品パッケージやバッグにデザインする題材を取り上げ、社会参画や郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮されている。(2・3年 p 70)</li> <li>・「海を越えた文化交流」では仏像の歴史や手印を解説し、多様な視点から作品に親しむことができるよう工夫されている。(2・3年 p 90, 91)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・字が細くなる箇所にはユニバーサルデザインフォントが使用され、読みやすさに配慮されている。</li> <li>・QRコードを活用することで豊富な生徒作品を閲覧でき、360度作品を回転させて鑑賞できることにより、多様な視点で作品を味わい制作について考えたりするために工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的、対話的な学習に取り組むための配慮が数多く含まれ、生徒、授業者双方の使いやすさ、創意工夫のしやすさという点で優れている。</li> <li>・生徒が自らの興味関心をもとに主題を設定したり、造形的な視点を働かせたりできるよう多彩な参考作品や例示が掲載されており、生徒一人ひとりの表現活動における様々なニーズに対応できるよう工夫されている。</li> </ul>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 美術 )

No.2

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
○ 日本 文 教 出 版	<p>・1年は「美術との出会い」2・3年は上下に分かれ、「学びの実感と広がり」「学びの探求と未来」と分かれており、発達段階に応じた学習ができるよう工夫されている。</p> <p>・参考作品や実寸大の図版が数多く掲載され、生徒が視覚的に楽しむことができるよう配慮されている。</p> <p>・題材ごとに主題を設定しやすいメインタイトルや主文が用意され、表現と鑑賞の一体的な学習がしやすいよう工夫されている。</p>	<p>・1、2時間程度で実践できる短時間題材が掲載されており、年間指導計画に合わせて多彩な授業を行えるよう配慮されている。(2・3年下p12・13)</p> <p>・1年に水墨画や情報伝達、2・3年下に映像表現や道のデザインなどが掲載され、多様な美術表現を学ぶことができるよう工夫されている。</p>	<p>・多様な生徒作品や情景写真を掲載し、制作のためのコメントやヒントが示されており、生徒が制作意欲を高めたり主題設定を主体的に生み出したりするための配慮が見られる。</p>	<p>・題材紹介では、学習指導要領に示されている共通事項に沿った形で造形的な視点の問いかけが用意され、ポイントとなる点がわかりやすくなるよう配慮されている。(1年p16)</p> <p>・「祭りを彩る造形」では津和野町の鷺舞神事が取り上げられており、生徒が地域の伝統文化を身近に感じることができるよう配慮されている。(1年p57)</p>	<p>・他教科とのつながりが題材ごとに設定され、学校行事での活用を生かされるような提案性のある資料が用意されるなどの工夫が見られる。(1年p46・47)</p> <p>・「社会に生きる美術の力」では、様々な職業と美術の関係が掲載されており、生徒が生活や社会の中で活用されている美術について具体的に想像できるよう工夫されている。(2・3年下p58)</p>	<p>・全ページを通して文字と背景のコントラストが意識され、色覚特性のある生徒や文字情報のインプットが得意でない生徒も他の生徒と等しく学びを得られるような配慮がなされている。</p> <p>・QRコードから、美術と社会に関わる様々な著名人のインタビューを閲覧することができ、多様な視点から美術について考えることができるよう工夫されている。(1年p5)</p>	<p>・1年と2・3年の上下巻という構成により、学年に応じて段階的に学びを深められるよう工夫されている。</p> <p>・生徒の興味関心を高めることができるよう図版が豊富に用意され、「造形的な視点」が示す内容を考えることによって学習をより深めることができるよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 保健体育 )

No.1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<p>・本文の量が少なく簡潔で、資料等の学習内容が確認しやすくなるよう工夫されている。</p> <p>・見開き右ページにインデックスがあり、学年やタイトルが示してあるため、見通しをもって学習に取り組めたり、学習を振り返ったりする際に検索しやすい工夫がされているところが見られている。</p>	<p>・「見つける」の導入で興味づけを図り、「課題の解決」では知識として身につけたり思考判断を促したりすることができ、「広げる」では発展的思考や表現力を磨くことができるように流れが工夫されている。</p> <p>・「活用する」では、自ら調べたり考えたりすることで、発展的学習や学習の定着が図れるよう工夫されている。</p>	<p>・資料でのイラストやグラフなどが大きく、生徒が興味・関心を持ちながら学習に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>・章末資料がシンプルにまとめてあり、生徒が読みやすい工夫がされている。</p>	<p>・「運動やスポーツを行うときのチェックシート」など、わかりやすく具体的な表現や手法が多く取り入れてあり、主体的に学習ができるよう工夫がされている。</p> <p>・「熱中症」や「SDGs」など今日的な課題を追求する内容が充実しており、発展的な学習へつなげる工夫がなされている。</p>	<p>・ストレスへの対処に対するリラクゼーションの方法を実際に体験的に取り組んだり、熱中症の予防や手当てについて理解したりして、生活に生かせるよう工夫されている。</p> <p>・「広げる」では、自分たちの身の回りのことについて、学習とつなげるような構成になっており、実生活へ生かせる工夫がされている。</p>	<p>・Dマークコンテンツは学習内容に関連する動画や関連リンク、WEBページへのアクセスが便利で、生徒が家庭でも勉強できるよう工夫されている。</p> <p>・他教科や他のページとの関連が示され、関連性を含みながら学習が展開できるよう工夫されている。</p>	<p>・「見つける」の導入で興味・関心を高め、本文や資料で課題を解決したり、理解を深めたりする工夫がなされているところが主体的に学習に取り組むために適した構成になっている。</p> <p>・Dマークコンテンツが豊富に用意され、視覚的補助資料として生徒の興味・関心や内容を深める点が優れている。</p>
B 大日本図書	<p>・各章扉には、小学校で学習したこと、中学校で学習すること、高校で学習することが記入してあり、将来の学習につながるよう工夫がされている。</p> <p>・学習タイトルに関連の写像があり、学習内容を印象付けられる工夫がされている。</p>	<p>・「学習のねらい」や「つかもう」で学習課題を把握し、活動を通して「活用して深めよう」という統一した流れがあり見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>・見開きページの左側に本文を載せて、右側に表や資料などをまとめる構成にしてあり、生徒が見やすいような工夫がされている。</p> <p>・冊子の下部にある「ミニ知識」が学習と関連して、さらに深まったり広がったりする内容になっている。より興味や関心を高めるのに効果的である。</p> <p>・「トピックス」で学習内容の深まりや大切さの意識の高まりを支援する工夫がされている。</p>	<p>・加熱式タバコの記述やジェンダーに関する記述など、今日的な課題を取りあげ、今後の社会問題などについて考えるのに適している。</p> <p>・心肺蘇生法の流れが折り込みページになっており、確認しやすいうえ、動画のページにもリンクしており、効果的な指導ができる。</p>	<p>・リラクゼーションの方法を体験することで生活に活かせるよう工夫されている。タバコなどを勧められた際の断るスキルや心肺蘇生法の手順などが示され、体験や視覚的に学習できることを通して理解できる工夫がされている。</p> <p>・章末の「学びを活かそう」を活用することで、学習した内容が日常生活に主体的に生きていくような工夫がされている。</p>	<p>・「リンク」で他のページや他教科との関連が示され、学習内容のつながりを意識できるよう工夫されている。</p>	<p>・左側に本文、左下にリンク、右上に「やってみよう」「話し合ってみよう」など決まった場所に内容が配置されてレイアウトが見やすいように工夫されており、生徒が学習しやすいよう配慮されている。</p> <p>・トピックスには、社会問題や自分の未来への創造をテーマにするなど、生徒が学習した内容を実生活へ生かせる工夫がなされている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 保健体育 )

No.2

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
K 大修館書店	<p>・章のまとめで、知識技能の確認問題が充実しており、生徒の基礎的、基本的な内容の定着を図る工夫がされている。</p>	<p>・「きょうの学習」や「課題をつかむ」で学習内容や課題を把握し、見直しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>・「資料」のグラフやデータで中学生のデータを多く取り上げ、身近な課題として考えることができるよう工夫されている。</p> <p>・「学習のまとめ」では自ら調べてまとめることや発表して広げたり深めたりすることができるような工夫がされている。</p>	<p>・「資料」にわかりやすいイラストや説明(具体例など)があり、興味・関心をもって学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>・章の扉が、ポップや写真を使ってこれからの学習がイメージしやすいように工夫されている。</p>	<p>・生活習慣病・がんの予防に関する内容に重点を置き、さらに特設ページを設け、がん教育の学習を行うのに適した構成になっている。</p> <p>・「ほり下げる」には加熱式電子タバコの記載など、最近の課題や、さらに深い学習ができるような工夫がされている。</p>	<p>・「クローズアップ」には相談先の具体的な記述などがされており、学習を実際の社会生活とつなげる工夫がされている。</p> <p>・食物アレルギーに関して「エピペン」について取り上げられている。</p> <p>・「気象情報の適切な利用」で環境と健康被害について適切に対処できるよう学習を進められる工夫がされている。</p>	<p>・「web保健体育情報館」で外部サイトにアクセスでき、多様な情報を得られるよう工夫されている。</p> <p>・Q&amp;A健康相談コーナーで性に関する悩みについて、具体的な項目を挙げ、不安を軽減しようという工夫がされている。</p>	<p>・「課題をつかむ」から本文や実習で知識理解を深め、学習のまとめや章のまとめで定着を図ることができるよう工夫されている。</p> <p>・「資料」のグラフやデータで中学生のデータを多く取り上げ、学習内容を自分や実生活と結びつけながら考えることができるよう工夫されている。</p>
P 学研教育みらい	<p>・見開き右ページにインデックスがあり、学年や領域が示してあり、学習を振り返るときに検索しやすいなど配慮がされている。</p> <p>・基本的な内容の定着を図るために、必要な情報を図やグラフなどを用いて、文字数も少なくシンプルに記載されており、生徒が読みやすいように工夫されている。</p>	<p>・タイトルの表示と併せて、学習の目標とキーワードが表記してあり、学習の見通しが持ちやすく、見直しもしやすい工夫がされている。</p> <p>・「まとめる・深める」ではグループでの話し合いができるような設定があり、学習内容を深める工夫がされている。</p>	<p>・「自然災害を知る」では、写真とデータを合わせて表示することにより、効果的な指導ができるよう工夫されている。</p> <p>・「情報アプリ」、「探求」、「リンク」、「発展」などのアイコンで表示された内容が、学習意欲への興味関心が高まるような工夫がされている。</p>	<p>・調和のとれた生活を送るためのチェックリストなど、今の自分の生活を振り返り、健康的な生活と結びつける工夫がされている。</p> <p>・身近にある課題など(メタボ、アルハラ、動物由来感染症など)を取り上げ、今後の生活を考えることができるよう配慮されている。</p> <p>・「災害から身を守るために」では様々な災害を想定し、適切な行動が取れる力を身につける工夫がされている。</p>	<p>・章末の「探求しようよ！」にはコラムの種類や内容が充実していたり、Q&amp;Aで分かりやすい内容だったりする点で優れている。</p> <p>・「実習」(コミュニケーション)や資料(ストレスへの対処)などで日常生活場面に生かせるような具体的な対応を身につけることができるよう工夫されている。</p>	<p>・各ページに「JOB」の記載があり、その内容に関連した職業が紹介されている。学びが働くこととつながるよう配慮されている。</p> <p>・性に関する悩みについて、具体的な項目を挙げ、不安を軽減しようという工夫がされている。</p> <p>・「教科書サイト」で外部サイトにアクセスでき、多様な情報を得られるよう工夫されている。</p> <p>・「オリンピック・パラリンピック」について複数ページにわたり取り上げ、学習を広げられるよう工夫されている。</p>	<p>・資料や「コラム」、章末の「探求しようよ！」などに学習と実社会をつなげる工夫や、今日的課題を取り上げるなどに優れた構成になっている。</p> <p>・「まとめる・深める」などに多様な視点からのアプローチがあり、見方や考え方を深めることができるよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 技術・家庭科(技術分野))

No. 1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの内容もほぼ同等の分量で構成されており、バランスよく学べる工夫がされている。</li> <li>・ガイダンス部分で問題解決プロセスについて解説されており、学習の流れがわかるよう工夫されている。</li> <li>・すべての内容において①見方・考え方②問題解決③評価の流れで構成されており、生徒が学習を行いやすい点で優れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決例（製作例）が多く、また他の内容との関連性をもたせて、統合的な問題解決につながるよう工夫されている。</li> <li>・技術の習得についてのページがまとめてあり使いやすい。（TECKLab）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の見方・考え方についての「最適化の窓」が作られており、身の回りの製品について様々な視点から見る事ができる点が優れている。</li> <li>・問題解決例として熱中症予防プログラムなど身近で必要性のある課題により、興味・関心を高めるよう工夫されている。（計測制御）</li> <li>・情報モラルについて場面がイラストで表されており、実生活と結びつけやすい。（P207～209）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Dマークコンテンツ」が設定されており、内容に応じて動画やシミュレーションなどを活用できる。</li> <li>・「統合的な問題解決」では、学んできたことを組み合わせながら解決に向けた取り組みが多く載せてあり、具体的なイメージを持ちやすい。（P264～269）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決のプロセスが「問題解決カード」という図で共通して表してあり、解決に向けてのプロセスがイメージしやすい。また、思考ツールの使い方も示してあり思考を深める手立てが示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「技術の匠」の欄があり、学習している内容が生活でどのように生かされているか考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の分量や教材の難易度などがバランスよく示してあり、PDCAを意識した学習の流れもきちんとまとめてあるなど、教科をとおして生徒に問題解決能力がつくように構成されている点で優れている。</li> <li>・デジタルコンテンツも単に動画を見るだけでなく、シミュレーションができるよう工夫されており、優れている。</li> </ul>
C 教育図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎技能が技術ハンドブックに、無駄なくまとめてあり、実習の時はこの冊子を手元において、授業を進められる工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ページの端に「作って学ぼう」「じっくり学ぼう」「学びを深め生かそう」と書いてあり、学習内容の大まかな確認ができる。</li> <li>・見開き1ページが、「めあて」「展開」「ふり返る」で構成されており、指導と評価の一体化ができるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業の解説のためにQRコードがあり、動画で見ることができるよう工夫されている。</li> <li>・新国立競技場など、新しい話題が取り入れてあり、生徒の興味を引く工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真の分け方が細かく、作業の流れがわかりやすいよう工夫されている。</li> <li>・巻末に各内容のワークシートがついていたり、「統合的な問題解決」では、題材例や学習の手順が丁寧にまとめられていたりして、免許外の教員にも指導しやすい工夫がなされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材の中にスマホスタンドが取り上げられており、生徒にとって必要性の感じられる題材になるよう工夫されている。（P62～63）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に先輩からのメッセージがあり、学習した内容が、どのように将来にかかわるかがわかるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の身近な内容から最新技術までまとめてあり、生徒が興味をもつことができ、理解しやすく、意欲をもって学習を行うのに適している。</li> <li>・ワークシートやハンドブックなど、誰でも効率的に学習できるよう工夫されている。</li> </ul>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 技術・家庭科(技術分野))

No. 2

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫	
D 開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの内容でも学習の流れが共通していて、内容、分量ともに適当である。</li> <li>・製作題材の難易度が広くあり、生徒の能力に合わせて選択できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「材料と加工に関する技術」の実習例は、加工が簡単で汎用性の高いDL材を使用したものがあり、生活に役立つ製作ができるよう工夫されている。</li> <li>・「知識・技能」「問題解決」「振り返り」という流れで構成されており考えを深めやすいような工夫がされている。</li> <li>・具体的な実習例が詳しく書いてあり、発展的な内容にスムーズに移れるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業の解説のためにQRコードがあり、動画で見ることができるよう工夫されている。</li> <li>・製作の中でも「問題の発見」「課題の設定」「計画」「実施」「評価」の流れで行うことができ、実習を通して思考・判断・表現力を伸ばす工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「たたら製鉄」や「Ruby」など島根に関する内容が取り上げられている。</li> <li>・技術分野の学習の流れが、図とイラストで表しており、教科の特徴をつかみやすい点が優れている。(P6～7)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「課題」の欄があり、普段見なくても考えたことのない内容を挙げ、生活に関連付ける工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能のコツなどが「動作のポイント」として紹介されており、生徒が技能の習得をしやすいように工夫されている。</li> <li>・1ページの中の文字数や図などが精選されており、ゆったりとしたレイアウトで見やすくなるよう工夫されており、優れている。</li> <li>・技能のコツが詳しく説明しており、技能習得の学習を行うのに適した構成になっている。</li> </ul>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 技術・家庭(家庭分野)) No.1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
A 東京書籍	<p>・基礎基本のポイントがイラストや写真を効果的に使い、「いつも確かめよう」にまとめてあり, 定着を図る工夫がされている。また, 各編の「学習のまとめ」に「大切な用語」が明記され, 学習内容の定着を図る工夫がされている。 (P 54~63, 100, 101)</p> <p>・課題設定やまとめと発表の仕方, 思考ツールの活用についてまとめてあり, 思考力・判断力・表現力の育成ができるよう工夫されている。(P 270, 271)</p>	<p>・ガイダンス, 内容B C Aの順で「自立から共生」の流れで高等学校につながる配列になっている。 ・「まとめよう」や「生活に生かそう」では, 目標に沿ってまとめ, 生活の課題や実践につなげていくことができるよう工夫されている。(P 23, 25)</p>	<p>・各節始めの「考えてみよう」「話し合ってみよう」や「活動」を設定し, 問題解決的な学習を進められるよう工夫されている。 (P 238)</p> <p>・実物大の写真や巻末付録, 折り込みのページなど視覚的にも捉えやすく, 実感をもって学べる工夫がされている。 (P 33~39, 226など)</p>	<p>・授業の流れに沿った見開き構成になっており, 課題解決を取り入れながら, 生徒が見通しをもって学習に取り組めるとともに, 経験の浅い教員にも指導しやすい工夫がなされている。(P 110, 111)</p> <p>・消費者教育を重視し, 消費者としての自覚や責任ある行動が身につくような事例を示すとともに, 全編で, 持続可能な社会を目指した内容が学習できるよう工夫されている。 (P 96, 154など)</p>	<p>・巻末の付録「防災・減災手帳」では, 日常生活で活用ができる工夫がされている。 ・実習例の「私のオリジナル」で簡単な実習例を示し, 家庭での実践を促すよう工夫されている。(P 73, 142)</p>	<p>・活用できる個所にDマークを明記し, 二次元コードでインターネットなどを活用し, 効果的に学習ができる工夫がされている。 (P 291)</p> <p>・ユニバーサルデザインの観点からレイアウトや配色などについて, また, 左利きの例を取り上げるなど誰でも使いやすい配慮がされている。 (P 58, 129)</p>	<p>・生活の自立と共生を目指し, 基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに, 見通しを持ち, 主体的に問題解決的な学習を進めていくための内容構成が工夫されているという点で優れている。 ・学習内容の理解や興味・関心を高める資料や写真, イラスト等が工夫, 精選されており, 生徒の実態に応じた効果的な指導ができ, 優れている。</p>
C 教育図書	<p>・章末に「学習のふり返し」があり, 3観点別に学習のまとめができるよう工夫されている。 (P 34, 35)</p> <p>・本文は, 読みやすい文章になるよう内容を絞って記述する工夫がなされているが, 資料の部分は情報量が多く, 全体のバランスを考慮した分量について工夫が望まれる。 (P 86~)</p>	<p>・ガイダンス, 内容A B Cの順で構成されている。 ・「見つめる」→「学ぶ」→「ふり返る」の流れに沿って学習した後, 「学びを生かそう」で自分の課題に取り組めるよう工夫されている。 (P 24, 25)</p>	<p>・章の始めに, テーマに沿った写真やイラストを見開きで掲載するとともに自立度チェックを取り入れて, 興味・関心を喚起するよう配慮されている。 (P 12, 13)</p> <p>・布を用いた作品製作では, 製作のバリエーションを写真とともに紹介し, 課題設定のヒントとなるよう工夫されている。 (P 202, 204)</p>	<p>・「体験してみよう」や「やってみよう」を設定し, 活動を通して考える学習ができるよう工夫されている。 (P 29, 256)</p> <p>・自然災害への備えや対策について, 衣食住生活の学習において扱うように配慮されている。 (P 19, 149, 185, 203)</p>	<p>・「センパイに聞こう」や「メッセージ」は, 地域や社会とのかかわりを考えるのに効果的である。 (P 69, 161, 191など)</p> <p>・被服や調理の実習では, 実習例や「私のアレンジ」などの作品が多くあり, 興味・関心を持つことができる工夫がされている。 (P 133, 145, 201)</p>	<p>・二次元コードが関連ページに掲載されており, すぐにみることができ, 効果的に学習や指導ができる。 (P 27)</p> <p>・食物アレルギーについて, 調理実習では, 特定原材料を使用する料理に代替食品の例を示す配慮がなされている。 (P 136, 137)</p>	<p>・「やってみよう」「学びを生かそう」「章末のまとめ」を繰り返す構成になっている。流れに沿って学習できるように工夫されており, 主体的に課題解決をする力をつけるために効果的である。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 技術・家庭(家庭分野) ) No.2

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
D 開隆堂出版	<p>・小項目ごとに「ふり返し」が設けられており, 明記された課題について考えることで, 思考力・判断力・表現力を身に付けるための工夫がなされている。(P 25)</p> <p>・内容の終わりに「学習のまとめ」があり, 基礎的・基本的内容の定着が図れるように工夫されている。(P 155, 225)</p>	<p>・ガイダンス, 内容A B Cの順で構成されており, それぞれの内容を関連させて学べるようになっている。</p> <p>・各内容のはじめに自分の興味・関心を, 終わりに振り返りを書き込んだり, 問いかけたりし, 小学校との関連付けを意識して学習できるような工夫がされている。(P 14, 15, 18)</p>	<p>・小項目ごとに身近な話題を用いた導入課題を明記し, 興味・関心をもって取り組めるよう配慮されている。(P 180など)</p> <p>・写真やイラストなどの資料は, 多種多様な生徒が興味を持つことができるよう工夫されているが, 写真と吹き出しの内容が合っていない箇所があり, 工夫が望まれる。(P 14, 15, 70, 71など)</p>	<p>・巻末に, 「災害からのちと生活を守るために」と題し, 8ページにわたり, 防災についての基礎知識と心がまえをまとめ, 防災教育に生かせるよう配慮されている。</p> <p>・各内容の最終ページにSDGsの目標と関連させて考える課題を設けて, 繰り返し学習できるよう工夫されている。(P 64, 152)</p>	<p>・他教科との関連内容が示されており, 意識して学習できるように工夫されている。(P 29)</p> <p>・学習のまとめごとに「生活にいかそう」が設けられており, 実生活に即して考えたり, 調べたりしたことをまとめる活動が設定されている。(P 41, 221)</p>	<p>・二次元コードが関連のページに掲載されており, すぐに情報が見られるように工夫されている。(P 23)</p> <p>・食物アレルギー物質を含む食材が材料表に明記されている。(P 116, 136)</p>	<p>・「自立」に必要な基礎的・基本的な内容をおさえながら, 「共生」を意識した本文記述や資料が掲載されており, 「自立」と「共生」の土台づくりができるよう配慮されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 英語)

No.1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
A 東京書籍	<p>・各学年の教科書は, 1年11Unit(165ページ), 2年7Unit(159ページ), 3年6Unit(153ページ)で構成されている。</p> <p>・3つのStageに分けられ, 各Stageの終わりに領域統合的, 問題解決的な活動が設定されていたり, 本文読解後に自己表現活動が設定されていたりするなど, 思考力, 判断力, 表現力を引き出すことができるよう工夫されている。</p>	<p>・Can-Doリストに基づき, 巻頭に学習を見通し, 巻末に自己評価をするページが設けられている。さらに巻末では3年間の学習のゴールを領域ごとに見通す工夫がなされている。</p> <p>・1年生のUnit1~5では, 小学校で慣れ親しんだ表現を使って「話す」「聞く」活動から授業に入るよう設定されている。</p>	<p>・各Unitの始めにある扉やPreviewで音声や画像, 映像から入り, Unitの概略や表現の使用場面などをつかむことで, 関心をもって学習する工夫がなされている。</p> <p>・A4版の紙面に写真やイラスト, 資料が多く使用され, 記入欄も広めにとられている。</p>	<p>・学び方コーナーで詳しいアドバイスが掲載されており, 自主的に学習を進めることができるよう工夫がなされている。</p> <p>・Stage ActivityやLet's writeでは, まとまった英文を書く手順が細かく示され, 書く力を高める工夫がなされている。</p>	<p>・AI, ユニバーサルデザイン, 国際支援, 伝統文化, 人権など, 今日的課題や知的好奇心を喚起する題材が扱われており, 地域を見つめ直すと同時に世界に視野を広げながら学習を進める工夫がなされている。</p> <p>・各学年1~2か所ずつ設けられたLet's learn...in Englishは, 他教科や実生活などで学んだことを英語の視点から学習することができるよう工夫されている。</p>	<p>・二次元コードにより映像や単語, 本文を繰り返し学習することができ, 自立した学習を支援する工夫がなされている。</p> <p>・文法学習のページが, 詳しい解説とともに1年生は7箇所, 2年生は6箇所, 3年生は4箇所設けられており, 家庭でも学習し直せるよう工夫されている。</p>	<p>・絵や写真の活用, 記入式の紙面, 二次元コードなど, 学習者の多様性や様々な学びの形を考慮し, 構成されている。</p> <p>・音声や映像による導入から, 内容理解, 領域ごとの活動, 今日的課題などを扱った課題解決的, 領域統合的学習へとスムーズにつなげ, 思考力, 判断力, 表現力を伸ばす工夫がなされている。</p>
D 開隆堂出版	<p>・各学年の教科書は, 1年10program(159ページ) 2年8program(159ページ) 3年7program(151ページ)で構成されている。</p> <p>・230~348語の読み物教材が2年3話, 3年2話, 追加の読み物教材2話がある。国語科で扱われている物語や歴史上の海外の国々とのつながりについて, 人物の信条についての話などが扱われている。</p>	<p>・最初にProgramを貫く3つのgoalが提示され, 次に場面を通して新しい表現が紹介される。その後, 本文の内容を自分の言葉で再話するRetell, 伝え合う活動のInteractへと発展させていく構成は優れている。また総合的な力を育成するOur Projectが各学年3回設定されている。</p> <p>・1年生の初期には小学校の既習事項を使ってできるGet Readyと文字と音が復習できるProgram0が設定されている。</p>	<p>・各Programの扉に題材に関係する写真, 内容を想起する問い, 3つのGoalが示され, 見通しをもって学習をスタートできるように工夫されている。</p> <p>・各Programでは2コマ漫画で新出表現が紹介されている。自然な使用場面で短い会話によってわかりやすく示されている。否定文や疑問文なども一連の会話の流れの中で紹介されており, 生徒が理解しやすいように工夫されている。</p>	<p>・各Programでは3つのgoalを1つ1つ確認しながら進めていくことができるよう工夫されている。また音読練習回数のチェック欄が設けてあり, 生徒が自分の取組を振り返りながら主体的に学習できるように配慮されている。</p> <p>・本文末のRetellでは表現力を高めることができ, Interactでは目的・場面・状況に応じた即興力を育てることができ, Our Projectでは協働学習で学び合いができるように工夫されている。</p>	<p>・日本の伝統文化を発信する題材, 国際理解を深める題材, 生物界の人間としての自覚を促す題材, SDGsに関連した題材が各学年で数多く取り扱われており, 生徒が広く世界に目を向け, 考える契機となるよう配慮されている。</p> <p>・日常生活の様々な場面を想定したPower-upでは, 領域を統合した活動が設定され, 実践的に英語を活用することができるよう工夫されている。</p>	<p>・二次元コードにより, 本文の音声だけでなく映像なども活用することができる。</p> <p>・導入ScenesではProgramで学ぶ言語材料が一度に提示されており, まとめて学ぶことができ, 自然なやりとりへとつなげていくことができるよう工夫されている。</p>	<p>・Our Projectは各領域を活用するパフォーマンス活動になっている。活動の手順や例が丁寧に示されており, 生徒同士が学び合いながら, 表現力を高めていくことができるよう工夫されている。</p> <p>・最初に目標確認, 基礎・基本の習得, 内容についての思考, 自己表現, やり取りという構成は生徒の様々な領域の力を伸ばすことにおいて優れている。</p>

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
F 三省堂	<p>・各学年の教科書は, 1年8Lesson(147ページ) 2年7Lesson(125ページ) 3年7Lesson(129ページ)で構成されている。</p> <p>・学年に応じて201~496語の読み物教材がある。(1年1話追加1話, 2年2話, 追加2話, 3年3話, 追加2話) 海外の児童文学や物語, 日本のとんち話など生徒が興味をもって読むことができる作品が掲載されている。</p>	<p>・各Lessonは単元の紹介とねらいの提示に始まり, 基礎を身に付けるGETで新出表現を定着させ, USEではREAD WRITE SPEAKの活用をする。Take ActionではListenとTalkの活動が準備されている。最後に文法のまとめで構成されている。また, いくつかの単元のまとめとして領域統合的な活動であるProjectが設定されている。</p> <p>・Starterで文字と音や身近な語句を復習し, 小学校で学習した学びがつながるように工夫されている。</p>	<p>・各Lessonの扉に, 題材に関する写真と発問が2問ずつ掲載されている。また各活動のねらいも提示されており, 導入から生徒が見通しをもって学習に取り組む工夫がなされている。</p> <p>・読み物教材の題材として, 海外の名作が取り上げられており, 生徒が興味をもって読み進め, 楽しみながら読む力を高めていく工夫がなされている。</p>	<p>・各LessonのUSE-Readでは目的や状況に応じたまとまりのある英文の概要や要点を読み取る力を育成することができるように, 3つのSTAGEが設定されている。</p> <p>・辞書の活用の仕方や単語の覚え方, 授業外での学び方など, 生徒が自主的に学習を進めるための手立てがFor Self-studyとして各学年に設けられている。</p>	<p>・公民権運動の歴史, 平和学習, 車椅子バスケットについてなど, 生徒の人間性を涵養する題材が取り入れられており, SDGsについての知識や考えも深められるよう工夫されている。</p> <p>・GET Plusでは実生活に即した表現活動を行うことができ, その活動に使用できる表現がWord Bankとしてわかりやすいイラストとともに設けられている。</p>	<p>・二次元コードにより, 本文の音声だけでなく映像なども活用することができる。特に, 付録のSoundsでは立体的な動画を使い, 口頭での解説や紙上での表現が難しい発音を視覚的にわかるよう工夫されている。</p> <p>・ジャンル毎のワードリストが付録の「いろいろな単語」に掲載され, 表現活動に活用できるよう工夫されている。</p>	<p>・3年間を見通した, 各学年3回のProjectは領域統合型の活動を通して既習の言語材料を活用することができるように工夫されている。</p> <p>・自然科学, 環境, 日本や海外の生活と文化, 生徒の感性に訴える物語など生徒が興味をもって学習できる題材が取り上げられている。</p>
G 教育出版	<p>・各学年の教科書は, 1年9Lesson(163ページ), 2年9Lesson(167ページ), 3年7Lesson(167ページ)で構成されている。</p> <p>・各レッスンの最後にReview, Task, Grammarの3つのコーナーが設けられており, 本文の内容や言語材料について総合的に理解し, その定着が図れるよう工夫されている。</p>	<p>・Projectが各学年2~3回設定されており, 既習の言語材料を活用し, 表現したり伝え合ったりすることができるよう配慮されている。</p> <p>・小学校の学習内容を復習できるspring boardや, 小学校での既習事項と関連した活動がLesson1~3に設定され, 小中の学びをスムーズに移行できる構成となっている。</p>	<p>・各学年に生徒の興味・関心を引く読み物教材が用意されており, 楽しみながらまとまった英文を読んだり, 内容について考えたりできるよう工夫されている。</p> <p>・各単元の扉には, 題材に関する写真と発問が掲載されており, 生徒の興味・関心を引き, 学習意欲が高まるよう工夫されている。</p>	<p>・既習の言語材料を活用し, 即興でのやり取りに役立つActivities Plusが巻末に用意されており, 授業の帯活動等で継続的に活用できるよう工夫されている。</p> <p>・4技能を高めるコツを紹介したTipsや学習の仕方をまとめたHow to Studyのコーナーがあり, 生徒の主体的な学習につながるよう工夫されている。</p>	<p>・環境や貧困, 平和等社会的な問題をテーマとした単元が設定されており, 教科等横断的な学習ができるよう配慮されている。</p> <p>・各学年にUseful Expressionsのコーナーが設定されており, 日常的な場面や状況に応じたやり取りができるよう工夫されている。</p>	<p>・二次元コードにより, 本文などの音声のデジタル教材を活用することができる。</p> <p>・各学年にマスクングシートやカードが付属されており, 効果的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>・日常的な話題から社会的な話題まで多様な題材が扱われており, 社会や世界との関わりの中で事象を捉えたり, 外国語やその背景にある文化を理解したりできるよう配慮されている。</p> <p>・巻末に3学年分の「Can-Do自己チェックリスト」が掲載されており, 当該学年だけでなく, 長期的な見通しの中で自己評価を行うことができるよう配慮されている。</p>	

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 英語)

No. 3

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
I 光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全学年8Unit (175ページ) で構成されている。</li> <li>・ 各単元は, 扉, Part 1～3, Goalが基本構成となっており, 各単元目標に向かって知識</li> <li>・ 技能を活用しながら, 5領域の力を総合的に育成することができるよう工夫されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ You Can Do It!が各学年に3回設定されており, 目的や場面, 状況に応じて既習の知識・技能を活用しながら, 領域を統合した言語活動が行えるよう工夫されている。</li> <li>・ 小学校の学習内容を復習できるLet's be Friends!が設けられていたり, 1年の基本本文の大半が小学校の既習表現となるよう配慮されたりしており, 繰り返し場面を変えて出合わせ, その定着を図れるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物語から今日的な話題まで豊富な題材を扱ったLet's Readでは, 要点を捉える設問や読んだ内容について考える設問が用意され, 深い学びにつながるよう工夫されている。</li> <li>・ 各単元の扉には, 「何ができるようになるか」が明確に示され, 題材に関係する写真やイラスト, 発問等を通して, 単元全体の概要を捉えられるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既習の言語材料を活用し, 即興でのやり取りに役立つLet's Talk!や, 既習のストーリー内容をリテリングできるStory Retellingが巻末に用意されており, 授業の帯活動等で継続的に活用できるよう工夫されている。</li> <li>・ 文法事項を使用場面と結び付けながら整理できるようActive Grammarが各学年の要所に設定されており, 基礎</li> <li>・ 基本の定着を図れるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学年の最初に「英語の学び方ガイド」, 要所に各領域別のコツを紹介したYour Coachが設定されており, 主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>・ 実社会に即した具体的な目的や場面, 状況が設定されたDaily Lifeでは, それぞれの場面で必要な領域や表現に焦点を当てながら練習することができるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二次元コードにより, 本文の音声や映像などのデジタル教材を活用することができる。</li> <li>・ 各学年の巻末にActive wordsが用意され, 身近な話題について繰り返し活用しながら習得できるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年間を通したストーリーを活かした言語活動, 各領域の力を高めるための帯教材や小教材が要所に配置されており, 目的や場面, 状況に応じて各領域の力を総合的に育成できるよう工夫されている。</li> <li>・ 世界への視野を広げ, 国際理解を深めるための教材として「World Tour」が設定されており, 多様なものの見方・考え方を働かせることができるよう配慮されている。</li> </ul>
L 新興出版社啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学年の教科書は, 1年10Unit (151ページ), 2年8Unit (159ページ), 3年6Unit (143ページ) で構成されている</li> <li>・ 導入のGet Readyでは英文を少なめにし, 取り組みやすいよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体が3つに分けられ, それぞれの終わりに設けられたProject 1～3では, 領域統合的な言語活動が工夫されている。</li> <li>・ 1年生では小学校の復習が, 2, 3年生の後半では高校につながる長めのリーディングやライティングが設けられており, 小, 中, 高のスムーズな接続の工夫がなされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色づかいやレイアウトがシンプルで, 見やすくする工夫がなされている。</li> <li>・ 実在の人物, 出来事など, リアルな題材が使用されている。また, 導入の対話は実生活に即しており, 後半のRead &amp; Thinkでは写真とともに興味深い内容が紹介されるなど, 生徒の関心を高める工夫がなされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界の祭, 食文化, 日本の町おこし, 海外で働く日本人, 防災など, 幅広い分野が取り扱われているが, 日常生活などにより導入されており, 親しみやすくする工夫が見られる。</li> <li>・ 2, 3年生のUnit末に設けられたExpress Yourselfではテーマに沿った短い文章を作り, 発表し合う活動があり, 生徒の思考力, 判断力, 表現力が高まるよう工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町おこし, ユニバーサルデザイン, 祭, 歴史的な出来事等, 生活や文化, 他教科と関連する題材が本文で扱われている。</li> <li>・ 2, 3年生では各Unitの最後にMore Informationが設けられ, 題材について日本語で詳しく補足説明されており, 英語の学習を他教科等と関連付けながら行う工夫がなされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二次元コードにより, 単語と本文を繰り返し学習することができる。また, 新出語句を1語ずつ繰り返し聞くことができたり, 語句の和訳の表示・非表示の切り替えができたりするなど, 学習に役立つ工夫が見られる。</li> <li>・ 巻末付録に発音とつづりのルールが解説されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 導入の短めの英文で関心のある話題に触れ, 後半の長文も意欲をもって読み進められるよう題材の選択が工夫されている。</li> <li>・ Project 1～3では, 各領域をバランスよく伸ばす領域統合的な活動が工夫されている。</li> </ul>

選定に必要な資料

(種目名 道徳)

No.1

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
A 東京書籍	<p>・28のテーマについて、35時間分の教材と付録教材5時間分の合計40時間分の教材が掲載されている。</p> <p>・全学年の巻頭折り込みに、話し合いの手引きが示されており、学習の際に参照できるように工夫されている。</p>	<p>・教材冒頭に、ねらいとなる内容項目に関連したテーマを示しておき、ねらいに沿って授業を展開できるように工夫されている。</p> <p>・全学年で2時間扱いの問題解決的な学習が設定されており、グループで話し合いをする中で、道徳的価値を深く理解できるように工夫されている。</p> <p>・全学年で2時間扱いの体験的な学習が設定されており、自分のこととして捉えられるように工夫されている。</p>	<p>・1年生では、イラスト教材があり、生徒がいじめについて自分自身で考えられるように工夫されている。</p> <p>・教材によって写真や漫画、挿絵など様々な工夫が凝らされており、生徒の興味を引きつけるものとなっている。</p> <p>・各学年5教材、テーマを考える際の材料として、漫画の1コマが掲載されており、教材への興味・関心を高め、学習のイメージがもてるように工夫されている。</p>	<p>・全学年で「いじめのない世界へ」と「いのちを考える」をテーマにしたユニットがあり、それぞれ3時間の授業で重点的に学習できる構成となっており、多面的・多角的に考えられるように工夫されている。</p> <p>・全学年で「情報モラルと友情」をテーマにした教材が掲載されており、現代的な課題について考えを深められるように工夫されている。</p>	<p>・「リフレーミング」では学活、「情報モラル」では学活や技術、「和食の良さ」では食育、「フェアトレード」では英語など、他教科と関連させて学習できる教材が多く、各教材テーマの下にマークがあり、分かりやすくなっている。</p> <p>・教材末の発問の中に「自分を見つめよう」があり、実生活について考えを深められるように工夫されている。</p>	<p>・A B版サイズのゆとりある紙面で全ての生徒が支障なく学習できるように配慮されている。</p> <p>・話し合い活動をより活発にするための授業支援ツールとしてホワイトボードと心情円が付録に用意されている。</p> <p>・学期末に自分の学びを振り返ることができるシートが3学期分用意されている。</p>	<p>・考え、議論する道徳を実現するために、全ての教材が問題解決的に考えることができる構成になっている点が優れている。</p> <p>・教材の内容と実生活の両面から思考を深められるよう、発問が「考えよう」と「自分をみつめよう」の2問に精選されている。</p> <p>・重要なテーマである「生命尊重」と「いじめ問題」をユニット化され、多面的・多角的に考えるための工夫が施されている。</p>
G 教育出版	<p>・30時間分の教材と5時間分の補助教材の合計35教材を掲載している。</p> <p>・巻頭のオリエンテーションのページでは、道徳科で何をどのように学ぶかが分かりやすく示されており、生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。</p>	<p>・教材名の下に導入となる問いがあり、どのようなことを学ぶのか意識づけができるように工夫されている。</p> <p>・教材の中に「やってみよう」が設定されており、役割演技をしたり、日常体験を話し合ったりする活動が示されている。</p>	<p>・「けやき中」シリーズでは、登場人物の成長や心情を考えることを通して、自分自身を見つめられるように工夫されている。</p> <p>・各スポーツ界や芸能や文化面で活躍されている人物の教材が多いので、生徒が興味をもちやすい。「ハゲワシと少女」ではインパクトのある写真が掲載されており、生徒の関心を高める工夫がされている。</p>	<p>・「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」ではそれぞれ複数組み合わせたユニットを設けて、考えを深めていくことができるように工夫されている。</p> <p>・「情報モラル」「防災」「臓器移植」「裁判員制度」など、現代的な課題を考える教材が掲載されている。</p>	<p>・多彩な人物教材（先人や現在活躍している方など）が多くあり、保健体育、国語、理科等関連を持たせながら学ぶことができるようになっている。</p> <p>・3学年を通して、教材の中に、様々な職業人が登場しており、職業観についても学ぶことができる。</p>	<p>・全学年巻末に、「都道府県にゆかりのある人物とその言葉」が掲載されており、郷土についての理解を深めるために工夫されている。</p> <p>・文字の間隔が広くとってあり、すべての生徒にとって読みやすくなっている。</p>	<p>・教材末の「学びの道しるべ」の3つの問いを通して、段階的に道徳的諸価値の理解を深め、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることができるよう工夫されている。</p> <p>・各学年の巻末に学期ごとと1年間での学びが記録できるシートが用意されている。</p>



選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 道徳)

No.3

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
P 学 研 教 育 み ら い	<p>・35時間分の教材が年間を通してバランスよく配列されている。</p> <p>・各学年の巻頭に、道徳科で学ぶことや考えを深めるためのステップが示されており、学習の流れがわかりやすくなるように工夫されている。</p>	<p>・ユニット学習として「地球と地域の未来のために」、「夢に向かって共に輝く」の2つがあり、視点や項目の異なる複数の教材を関連させ、広い視野で考えさせられるように工夫されている。</p> <p>・「深めよう」では教材に合わせて、話し合いや役割演技など様々な学習形態で学ぶことができるように工夫されている。</p>	<p>・様々な分野で活躍する人物に関する教材や、オリンピックや災害についての教材を設けてあり、生徒が興味をもったり、身近に感じたりできる工夫が施されている。</p> <p>・読み物だけでなく、絵や写真、図やグラフ等を教材に掲載することで、生徒の興味・関心を喚起させるように工夫されている。</p>	<p>・全学年通して6つのテーマを設け、特に、「生命の尊重」「いじめ防止」については、重点的に学習できるように工夫されている。</p> <p>・「金色の稲穂」は大田市立北三瓶中学校の作品であり、人からの思いやりとそれに対する感謝の気持ちを考える内容になっている。</p>	<p>・「クローズアッププラス」では、「メンタルトレーニング」、「アンガーマネジメント」、「自己肯定感」を扱い、実生活へ生かしていけるように工夫されている。</p> <p>・巻頭「さまざまなテーマで学ぼう」で、各教材とテーマの関連が分かるように工夫されている。</p>	<p>・AB版サイズになっており、写真や図版が大きく効果的に用いられている。</p>	<p>・各教材末の「考えよう」ではねらいに迫る発問について考え、「深めよう」では、生徒が自分の考えを深め広げられるように工夫されている。</p> <p>・巻頭の「マイプロフィール」、巻末の「心の四季」、最巻末の「学びの記録」により、1年間の成長を確かめられるようになっている。</p>
T 廣 済 堂 あ か つ き	<p>・35時間分の教材が年間を通してバランスよく配列されている。</p> <p>・別冊のノートに、各内容項目に関連した資料が1ページずつ掲載されており、本冊と一緒に活用することができる。</p>	<p>・教材末の「学習の手がかり」に主題名や内容項目が示されており、見通しをもって学習できるように工夫されている。</p> <p>・各学年に「いじめ防止」に関わる教材が掲載され、「人間としての生き方」について考えを深めるために、さまざまな道徳価値との関わりで「いじめ」について考えることができるように工夫されている。</p>	<p>・全学年で、友情をテーマにした「アイツ」シリーズが掲載され、生徒が自分の成長と重ねて考えることができるように工夫されている。</p> <p>・「ひまわり」では自筆の作文が教材に掲載されており、生徒の興味・関心を高めるように工夫されている。</p>	<p>・全学年で「生命尊重」と「いじめ防止・人権尊重」を重点的に捉える構成となっており、多面的・多角的に考えられるように工夫されている。</p>	<p>・巻末に学習指導要領対応表がついており、分かりやすく教材を選択することができる。</p> <p>・キャリア教育の視点から生き方を考えるための教材が、学習の発達段階に応じて掲載されている。</p>	<p>・AB版サイズで生徒にとって読みやすい。また、配色が温かみのあるもので、生徒が落ち着いて教材に向き合える工夫がされている。</p>	<p>・各教材末の「考え、話し合ってみよう」があり、問いを通して自分ごととして捉えられるように工夫されている。</p> <p>・別冊の道徳ノートには、補充の読み物があり、考えを深めることができる。また、「心に残っている授業」を記録する工夫が施されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 道徳)

No.4

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 題材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
U 日本教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 37時間分の教材が学習指導要領の内容項目順に配置されており、学校や生徒の実態に応じて教材を行う時期を考えて指導できるように工夫されている。</li> <li>・ 巻頭に「道徳科って何を学ぶの？」のページがあり、学び方の見通しを持つことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学年で、いじめを許さない心を育成するために、「正義」「寛容」「人権」「人間愛」などさまざまな教材の主題で、学びを深められるように工夫されている。</li> <li>・ 「礼儀はなぜ必要なのか」では、体験的な学習から考えを深めるようになっており、学習形態が工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「二つの足跡」ではクイズ形式で、生徒が主体的に考えられるように工夫されている。</li> <li>・ 全学年で友情をテーマにした「リョウとマキ」シリーズが掲載されており、登場人物の学年ごとの成長を通して、生徒が友情について考えを深めながら、次年度への関心を持てるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「こんなときどうしたらいいの」「ニュースで討論『支え合いは当たり前』」では、障害者差別解消法を取り上げ、人権意識を高めるよう工夫されている。</li> <li>・ 「小泉八雲が見た出雲の国」では、松江市が舞台の教材で、ふるさとのよさや日本の自然の美しさについて書かれており、異文化と向き合うことについて考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「生き方」を重点テーマにおいて作られている教材であり、学年の発達段階に応じてキャリア教育に関連させて学ぶことができるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学年によって表紙のタイトルが異なっており、学年ごとに付けたい力が分かりやすくなっている。</li> <li>・ 巻末には1年間の道徳の時間の取組みについて振り返るページが設定されており、1年間の心の成長を確認することができるように工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各教材末に「考え、話し合ってみようそして、深めよう」があり、問いを通して自分ごととして捉えられるように工夫されている。</li> </ul>